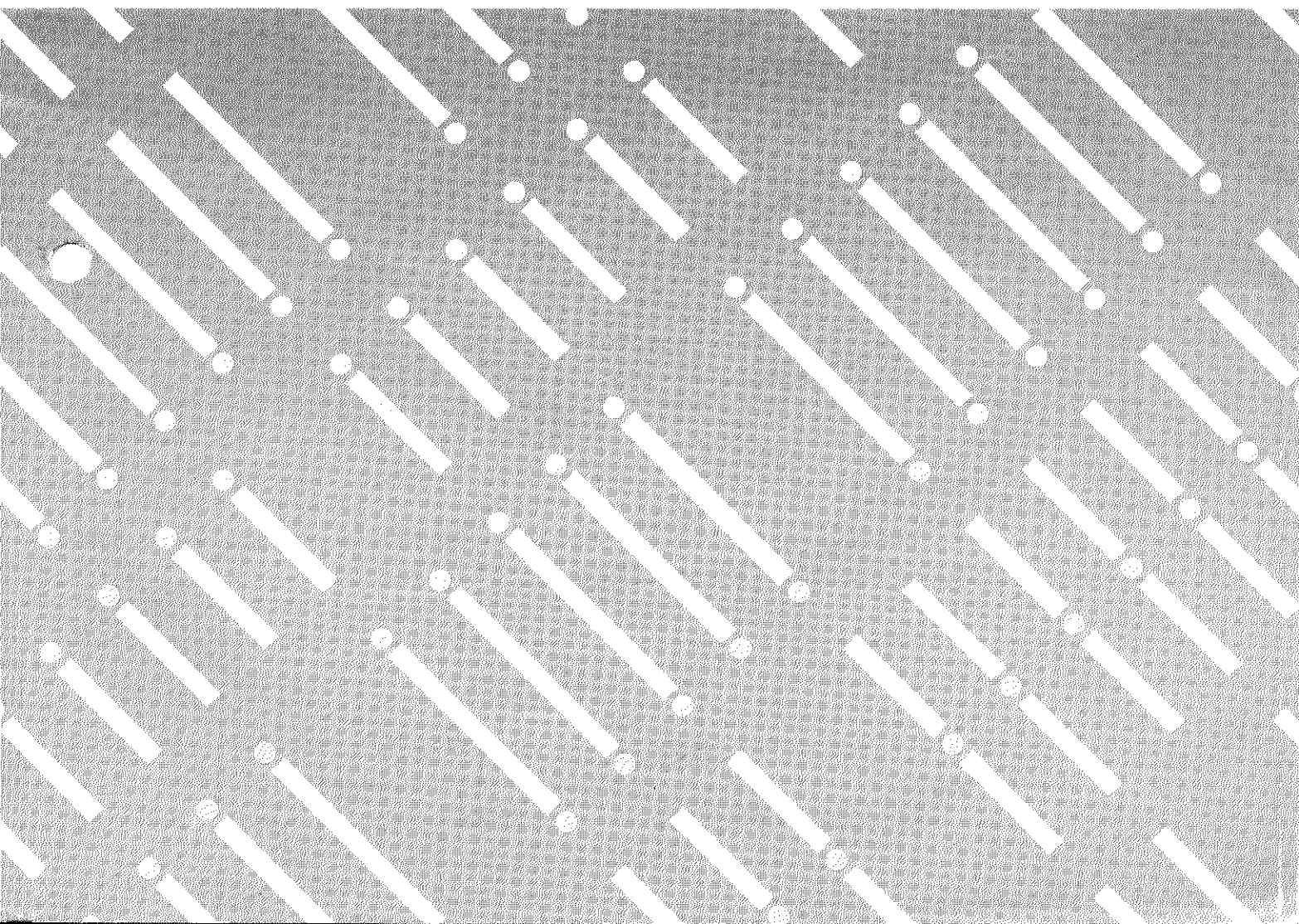


"KEYBOARDISSIMO"

DESIGNED BY M.BELLINI

YAMAHA PORTATONE PS-6100

取扱説明書



キーボードを超えた、“キーボーディシモ”

このたびはヤマハ“キーボーディシモ”PS-6100をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

“キーボーディシモ”は、その名のとおりにキーボードの最高峰を目指し、ヤマハの持つエレクトロニクス技術の粋を結集して完成した鍵盤楽器です。

FM音源によるアコースティックな楽器音の数々。指先での微妙な演奏表現を実現したタッチレスポンス機能。そして、PCM音源を導入したリズムはライブの迫力を忠実に再現し、オリジナルのリズムパターンをつくる機能も備えています。さらに、演奏記憶装置、外部テープへのデジタル録音機能、コンピューターなどのデータ交換を可能にしたMIDI端子を搭載。まさに時代の先端を行くこれらの機能に、マリオ・ベリーニのデザインによる洗練されたイタリアンフォルムをまとった、ヤマハ“キーボーディシモ”。その演奏表現の可能性は無限に広がりました。

本書では、その魅力を充分ご活用いただけるように正しい取扱い方を説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

もくじ

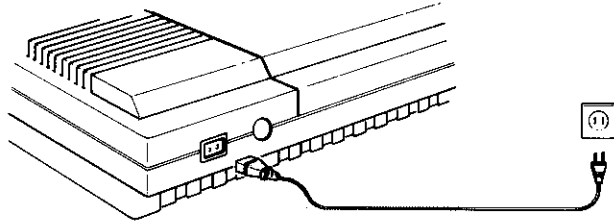
ご使用の前に	1
各部の名称とその機能	2
楽譜1 聖者の行進	5
「聖者の行進」を弾いてみましょう。	6
オーケストラ・アッパー	8
オーケストラ・ロワー	9
ソロ、ソロ&オーケストラ	10
リズム	11
○カスタムドラマー	12
○8ビートをつくってみましょう。	13
○リズムサンプル	14
オートベースコード	
○シングルフィンガーコード	15
○シングルフィンガーコードの出し方	
コード早見表(シングルフィンガーコード)	16
○フィンガードコード、メロディープラス	17
○コード早見表(フィンガードコード)	18
ミュージックプログラマー	20
テープ(カセットインターフェイス)	25
楽譜2 レットイットビー	26
3 ムーンリバー	27
4 スウィートメモリーズ	28
5 枯葉	30
6 スリラー	32
付属端子とオプション	34
故障と誤まりやすい現象	36
仕様	38
アフターサービスと保証	39

ご使用の前に

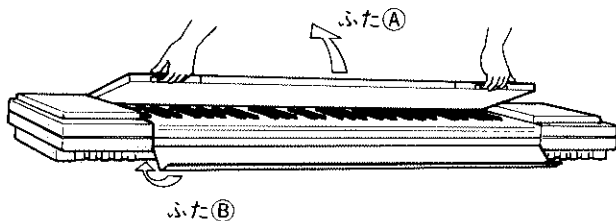
PS-6100のセット

①電源に接続します。

★必ずAC100Vのコンセントから電源をとるようにしてください。



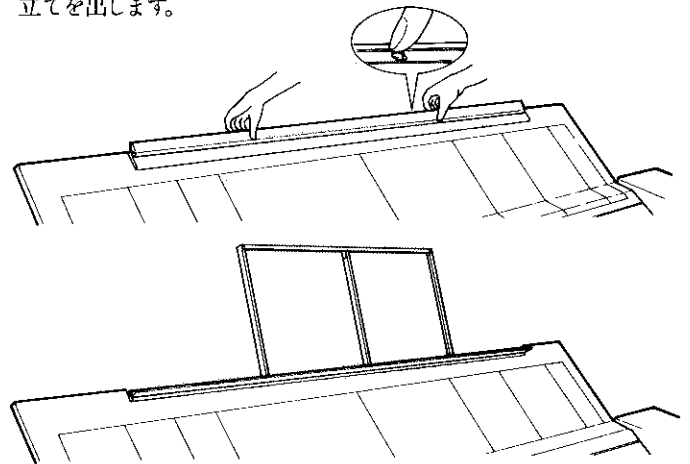
②まずふた(A)のへこみに指をかけてあげ、それから、ふた(B)を本体の下にカチッと音がするまでたたみます。



★ふたをしめる時は、ふた(B)からしめます。

③譜面立てをたてます。

ふた(A)の上部の譜面立てのふたをあけ、中のツメを押して、譜面立てを出します。



④スピーカーに接続して、サウンドに迫力を。

PS-6100は、先進のエレクトロニクス技術を導入したFM音源およびPCM音源を採用しています。PS-6100のスピーカーでももちろん演奏を楽しんでいただけますが、お持ちになっているオーディオなどの出力の大きなスピーカーに接続すると、ナチュラルでいきいきとした楽器音、ライブ感覚あふれるリズムなど、PS-6100ならではの迫力あるサウンドをよりいっそうお楽しみいただけます。(接続方法については34ページ参照)

取扱上の注意

■ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。電源が入ったまま長時間放置しておくと、故障の原因となることがあります。また、長い間ご使用にならない時は、コンセントからプラグをぬいておいてください。

■極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。また、特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。

■過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。

■本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でカラぶきしてください。よごれの目立つときは、少し水で湿らせた布でふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

■故障と思われる場合でも、絶対に内部をあけないでください。

■テレビ、ラジオ等を使用している時にPS-6100を使うと、テレビ、ラジオに雑音が入る場合があります。またPS-6100を使っている時、近くでパソコンを使うとPS-6100が異常動作をすることがあります。いずれも故障ではないので、どちらかの使用を中止するかなるべく遠ざけてご使用ください。

■楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に、夜間は適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのほひとつの方法です。

各部の名称とその機能

リズム (11~14ページ)

テンポランプ [リズムの速さを示します。]

カスタムドラマー [オリジナルのリズムパターンをつくり、メモリーさせておくボタンです。1と2に1パターンずつ設定できます。]

プログラム [オリジナルのリズムパターンをつくる時に使うボタンです。]

フリア [つづいたリズムをキャンセルする時に使うボタンです。]

メロディープラス (17ページ)

デュエット [オートベースコード使用時のメロディーに、コード音を1音加えた厚みのあるサウンドが得られます。]

トリオ [デュエットにさらに1音が加わり、より厚みのあるサウンドが得られます。]

オートベースコード (15~19ページ)

コードボリューム [自動伴奏のコード音の音量を調節するレバーです。]

ベースボリューム [自動伴奏のベース音の音量を調節するレバーです。]

メモリー [鍵盤から指を離しても自動伴奏を続けるボタンです。]

フィンガードコード [和音を押さえて自動伴奏をするボタンです。]

シングルフィンガーコード [指1本で自動伴奏をするボタンです。]

オートベースコードオフ [自動伴奏を使用しない時に押すボタンです。]

トランスポーザー

半音ずつ、上下にそれぞれ半オクターブまで、キーを変えることができます。伴奏をするとき、歌う人の声の高さに調節できます。また、音の位置を移動し、やさしいハ長調の弾き方でいろいろな曲が楽しめます。

フットスイッチ

オプションのフットスイッチFC-5を接続した時に、その機能を選ぶレバーです。(接続方法については、34ページをご覧ください。)

サステイン

音に自然な余韻をあたえるサステイン効果が、フットスイッチを押している間かかります。効果をかけたい音色のサステインをONにしておきます。部分的にサステインをかけたい時などに便利です。

グライド

オーケストラ・アッパー、オーケストラ・ロー、ソロの音程を約半音下げ、フットスイッチを離すことによりスチールギターのような効果を得ることができます。

リズムストップ

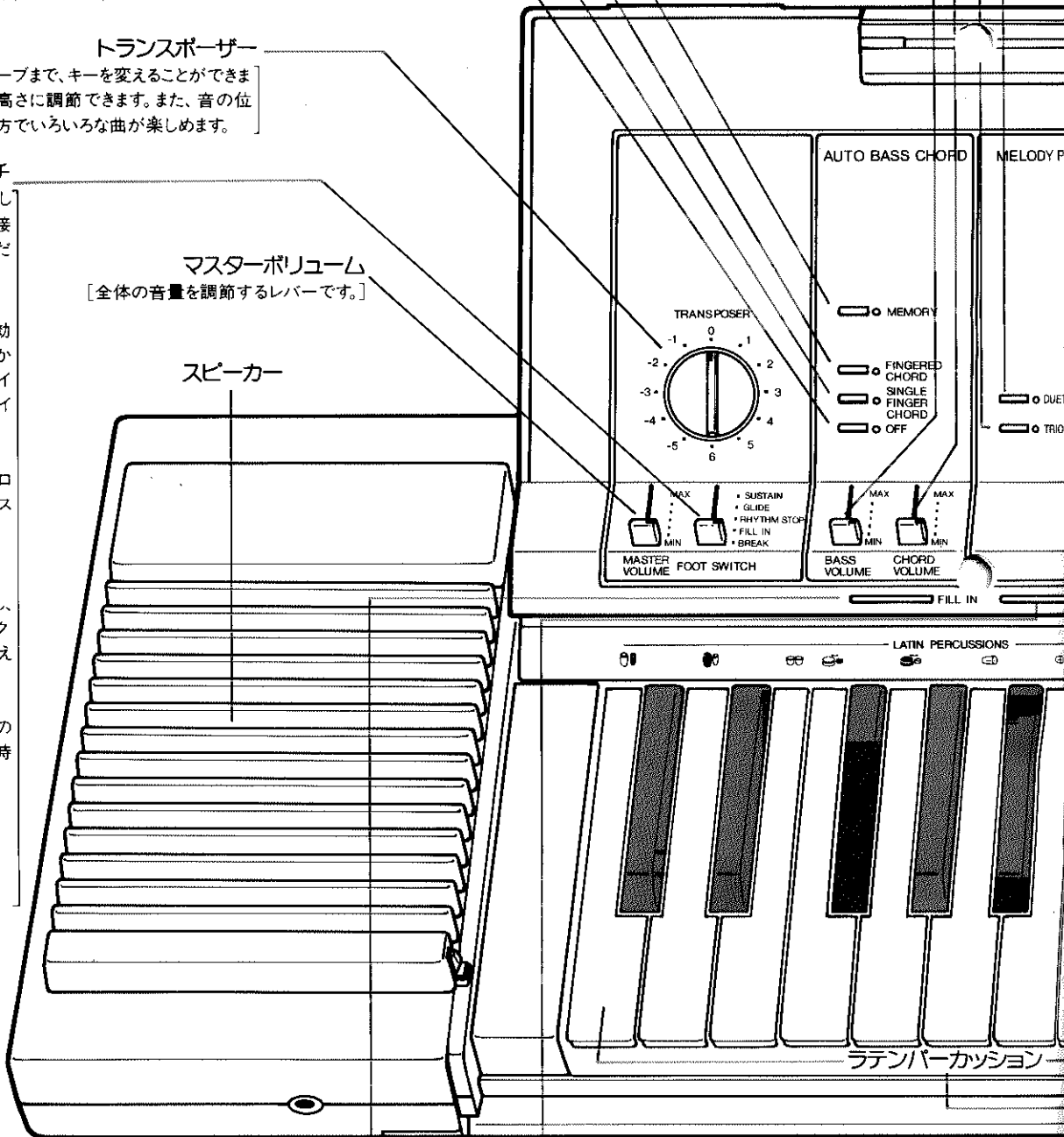
フットスイッチを押すと、リズムが停止し、もう1度押すとスタートします。ミュージックプログラマーのスタート、ストップにも使えます。

フィルイン

一時的にリズムやオートベースコードのパターンを変化させるフィルインを使う時に押します。(フィルイン・バーと同様に使います。)

ブレーク

一時的にリズムやオートベースコードを停止させる時に押します。(ブレーク・バーと同様に使います。)



マスターボリューム [全体の音量を調節するレバーです。]

スピーカー

フィルイン・バー [一時的にリズムやオートベースコードを変化させるフィルインを使用する時押します。]

ブレーク・バー [一時的にリズム音、オートベースコード音を消す時に押します。]

フィルイン

一時的にリズムを変化させるフィルインの種類を選ぶボタンです。1・2・3とそれぞれのすべてをオフにした状態の4種類があります。(実際の作動はフィルイン・バー、またはフットスイッチで行います。)

ハンドクラップ [リズムに合わせた手拍子が入ります。1・2の両方を同時に使うこともできます。]

バリエーション [リズムおよびオートベースコードの音色やパターンを変化させます。]

リズムストップ [リズムを停止させるボタンです。]

スタート [リズムをスタートさせるボタンです。]

シンクロスタート
[オートベースコード用鍵盤を押すと同じ時にリズムをスタートさせるボタンです。]

リズムボリューム
[リズム音の音量を調節するレバーです。]

テンポコントロール
[リズムのテンポを調節します。]

リズムセクター
[タテ、ヨコ両方のセクターを使ってリズムをひとつ選びます。]

オーケストラ・ロワー・トーン(9ページ)

ロワーボリューム
[オーケストラ・ロワー音色のボリュームを調節するレバーです。]

オーケストラ・ロワー
[低音部の鍵盤でオーケストラ・ロワー音色を使用する時に押します。]

サステイン
[オーケストラ・ロワー音色に余韻をつける効果のボタンです。もう1度押すとノーマルな状態に戻ります。]

オーケストラ・ロワー音色セクター
[オーケストラ・ロワー音色を選ぶボタンです。いちばん下のサイド切換スイッチで左右いずれかひとつを選択します。]

オーケストラ・アッパー

オーケストラ・アッパー
[オーケストラ・アッパー音色を使用する]

オーケストラ・アッパー音色
[オーケストラ・アッパー音色を選ぶサイド切換スイッチで左右いずれ]

アッパー・ボリューム
[オーケストラ・アッパー音色の]

サステイン・オフ
[オーケストラ・アッパー音色もう1度押すとノーマルな状態]

サステイン
[オーケストラ・アッパー音色のボタンです。1・2の2種類ノーマルな状態に戻ります。]

ステレオシンフォ:
[オーケストラ・アッパーと広がりをもたらす効果の2種類があります。]

RHYTHM

SYNCHRO START

START

STOP

CUSTOM DRUMMER

1

2

PROGRAM

CLEAR

VOLL

TEMPO

MAX

MIN

FAST

SLOW

SWING

BIG BAND

REGGAE

SHUFFLE

DISCO 1

DISCO 2

8 BEAT 1

8 BEAT 2

POPS 1

POPS 2

SALSA 1

SALSA 2

SAMBA

BOSSA NOVA

WALTZ

JAZZ WALTZ

SLOW ROCK

BALLAD

ROCK N' ROLL 1

ROCK N' ROLL 2

ROCK

HEAVY METAL

16 BEAT 1

16 BEAT 2

ELECTRIC POP 1

ELECTRIC POP 2

RHUMBA

TANGO

COUNTRY

FOLK

MARCH/ POLKA

MARCH 6/8

MARCH 6/8

VARIAION

HAND CLAP 1

HAND CLAP 2

FILL IN 1

FILL IN 2

FILL IN 3

ON ORCHESTRA LOWER

ON ORCHESTRA UPPER

JAZZ ORGAN

PIPE ORGAN

FLUTE

BRASS

STRINGS

FRENCH ACCORDION

PIANO

ELECTRIC PIANO

HARPSI CHORD

MUSIC BOX

JAZZ GUITAR

HAWAIIAN GUITAR

VIBES

MARIMBA

HORN

HORN

STRINGS

GUITAR

HARP

CHIMES

PIANO

ELECTRIC PIANO

COSMIC

STEEL DRUM

SUSTAIN

SUSTAIN OFF

SUSTAIN 1

SUSTAIN 2

STEREO SYMPHONIC

ENSEMBLE

CHORUS

ON SOLO

PANFLUTE

PICCOLO

CLARINET

JAZZ FLUTE

SAXOPHONE

OBOE

HORN

HARMONICA

TRUMPET

TROMBONE

VIOLIN

CELLO

ROCK GUITAR

FUZZ GUITAR

SYNTH

BANJO

FUNNY

FANTASY

LOWER VOLUME

UPPER VOLUME

VOLUME

BEAK

SPLIT

SPLIT

SPLIT

DRUMS

ハンドクラップ

ドラムス

アクセント

カスタムドラマー用鍵盤部
[カスタムドラマーでリズムを記憶させる時にたたく鍵盤です。]

スプリット
[低音部および自動伴奏用鍵盤]

時に押します。]
レクター
 タンです。いちばん下の
 ひとつを選択します。]
 ュームを調節するレバーです。]
 余韻を消去するボタンです。
 に戻ります。]
 に自然な余韻をつける効果
 が選べます。もう1度押すとノ
ソク
 色にうねりをもたせ、うるおい
 ます。アンサンブルとコーラス
 度押すとキャンセルされます。]

ソロ [ソロ音色を使用する時に押します。]

ソロ音色セレクター

[ソロ音色を選ぶボタンです。いちばん下のサイド
切り換えスイッチで左右いずれかひとつを選択します。]

サステイン

[ソロ音色に自然な余韻をつける効果のボタン
です。もう1度押すとノーマルな状態に戻ります。]

ソロボリューム

[ソロ音色の音量を調節します。]

タッチレスポンス

[ソロ音色を使用している時、鍵盤をおさえた後、さらに
おさえつけることで音量・音色またはビブラートの深さを
変化させるボタンです。もう1度押すとキャンセルされます。]

ミュージックプログラマー (20~24ページ)

オフ

[ミュージックプログラマーを止める時、使用するボタンです。]

レコード (ソロ・オーケストラ・コード/ベース・マニュアル・ベース)

[演奏を記憶させる時に押します。]

プレイバック (ソロ・オーケストラ・コード/ベース・マニュアル・ベース)

[記憶させた演奏を再生させる時に押します。]

プレイバック・リピート

[記憶させた演奏を繰り返し再生する時に押します。]

ポーズ

[記憶、再生の途中で一時停止させる時に押します。]

レジストエディット

[記憶させた演奏のリズムや音色などを変更する時に押します。]

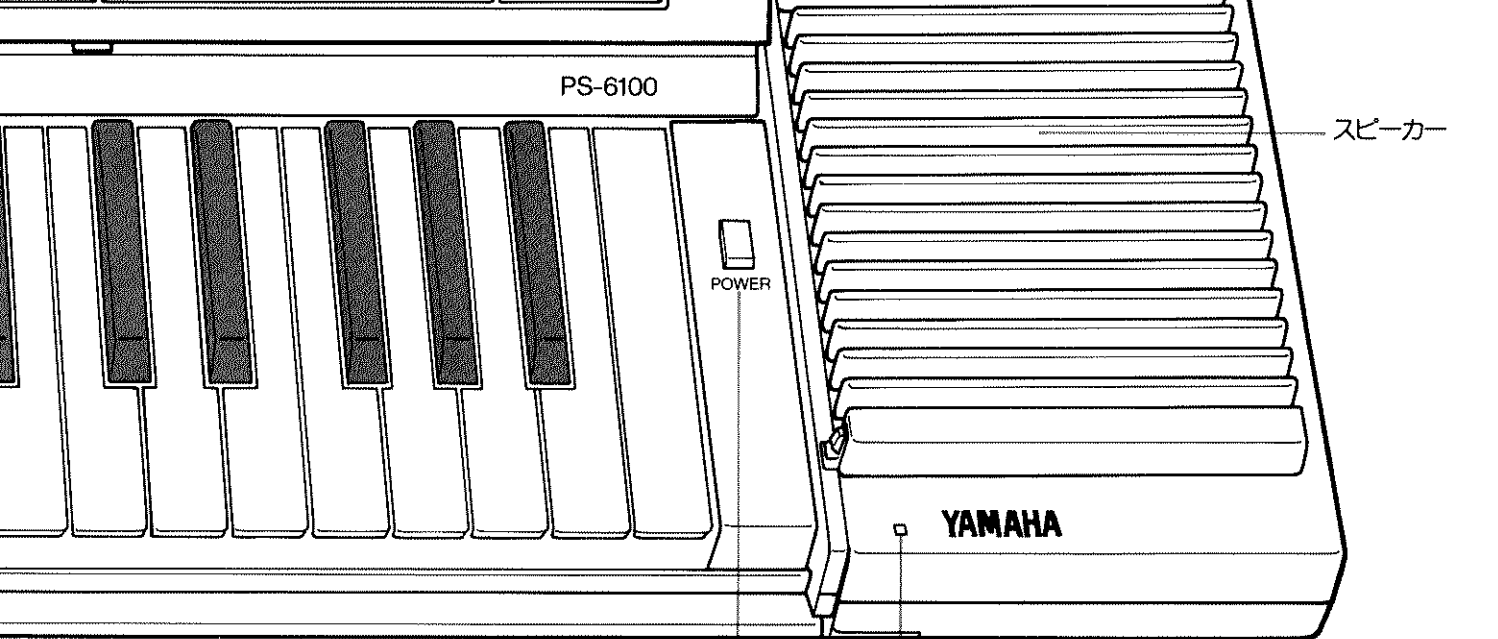
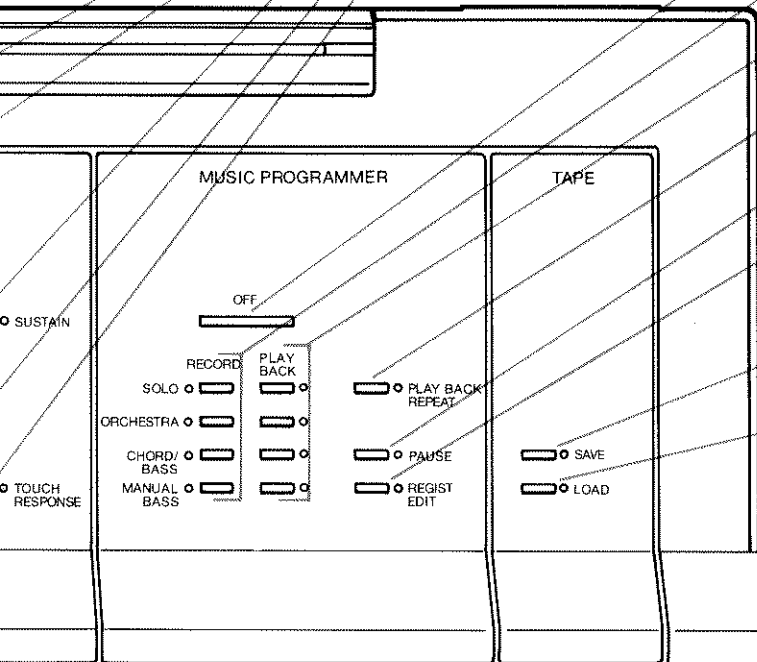
テープ (25ページ)

セーブ

[外部テープにPS-6100の情報をデジタル信号によって
保存する時に使います。]

ロード

[外部テープに保存した情報をPS-6100に戻す時に使います。]



スピーカー

パワースイッチ/パイロットランプ

[パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。]

範囲を選ぶボタンです。]

<p>OVERDRIVER</p> <p>OVERDRIVE</p> <p>MASTER VOLUME</p> <p>BOOST</p> <p>REVERB</p> <p>CHORUS</p> <p>DELAY</p>	<p>AUTO BASS CHORD</p> <p>MELODY PLUS</p> <p>PRESET</p> <p>RECALL</p> <p>EDIT</p> <p>DELETE</p> <p>SAVE</p> <p>LOAD</p>	<p>PRESET</p> <p>DRUMS</p> <p>ORGAN</p> <p>PIANO</p> <p>TRUMPET</p> <p>SAXOPHONE</p> <p>VIOLIN</p> <p>VIOLA</p> <p>CELLO</p> <p>CONTRABASS</p> <p>DOUBLE BASS</p> <p>DRUMS</p> <p>ORGAN</p> <p>PIANO</p> <p>TRUMPET</p> <p>SAXOPHONE</p> <p>VIOLIN</p> <p>VIOLA</p> <p>CELLO</p> <p>CONTRABASS</p> <p>DOUBLE BASS</p>	<p>ORCHESTRA LOWER</p> <p>ORCHESTRA UPPER</p> <p>SOLO</p> <p>MUSIC PROGRAMMER</p> <p>TAPE</p>
---	---	---	---

聖者の行進

When The Saints Go Marchin' In

アメリカ民謡

VO

TRUMPET

オーケストラ

BRASS

ベース

BIG BAND!

オートベース

コード C

C | Am | D7 | G7 | C | C7

F | Fm | C | E7 | F | G7 | C

日本音楽著作権協会(出)許諾第8470412-401号

「聖者の行進」を弾いてみましょう。

5ページの楽譜を開いてください。

ここでは、ソロ(メロディー)の部分だけを使います。オーケストラ・アッパー(オブリガート)とベースのパートは22ページで使います。

右手だけでメロディーを弾いてみましょう。

1. 電源スイッチをON。

パイロットランプとともに、ソロのパンフルート、オーケストラ・アッパーとそのジャズオルガン、スウィングのリズム、スプリットの左端のランプが点灯します。

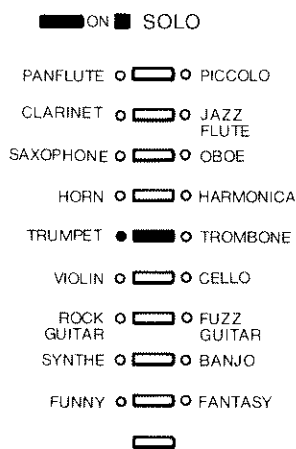
2. マスターボリュームをまんなか位にします。

3. ソロのボタンをON。

オーケストラ・アッパーのボタンはOFFに。

4. ソロの音色を選びます。

ここではトランペットを選びます。



5. ソロのボリュームを調節。

楽譜上の|X|を参考に、適当な大きさに調節します。

6. 弾いてみましょう。

★ソロの音色は単音しか発音しません。

7. タッチレスポンスをON。

トランペットの微妙なひびきを指先で表現。



オーケストラ・アッパートーンも加えて音に厚みを。

8. オーケストラ・アッパーのボタンをON。

9. オーケストラ・アッパーの音色を選びます。

ここではブラスを選びます。

10. アッパーボリュームを調節。

トランペットとブラスの音量のバランスを調節します。

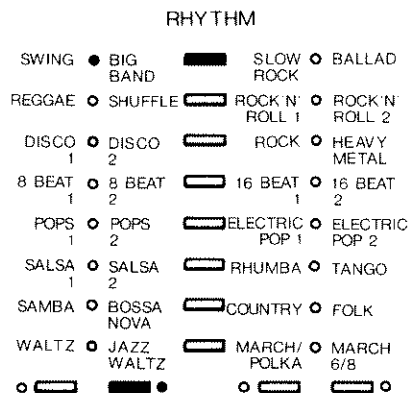
11. 弾いてみましょう。

左手でコード伴奏の練習を。

指1本で作奏するシングルフィンガーコードを使うと簡単です。

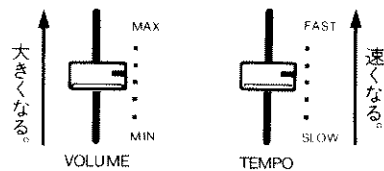
1. リズムを選びます。

ここではビッグバンドを選びます。タテのリズムセクターのいちばん上とヨコのリズムセクターの左から2番目を押します。

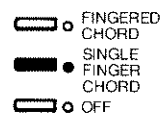


2. リズムボリュームを調節。

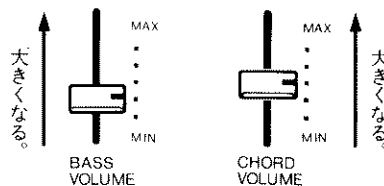
3. テンポを調節。



4. シングルフィンガーコードをON。

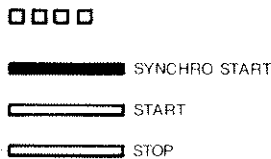


5. オートベースコードのベースとコードのボリュームを調節。



ミュージックプログラマーでコード伴奏を記憶。

6. リズムのシンクロスタートをON。



7. スプリットのいちばん左が点灯していることを確認。



この位置より低い音域(C1~F \sharp 2)がオートベースコード用の鍵盤です。

8. オートベースコード用鍵盤のC(D)を押します。



Cのコード(D・ミ・ソ)の音かリズムにのってでできます。

9. リズム、コード、ベースの音量とテンポを好みに応じて調節。

最初は弾きやすいテンポではじめましょう。

10. 弾いてみましょう。

画面の鍵盤図を見ながら、コード伴奏の練習をしましょう。とめる時はリズムストップをON。

11. メモリーをON。



このボタンを押すと、指を離しても自動伴奏が続きます。コードを変えたい時だけ、鍵盤を押さえます。

12. ハンドクラップ1をON。



自動的に手拍子が入ります。

ここでもう1度、右手でメロディー、左手でコードの練習を別々にしてみましょう。

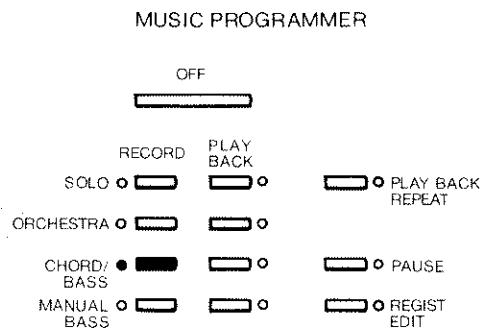
13. 両手を使って弾いてみましょう。

最初は弾きやすいテンポからはじめます。

両手で演奏するのが難かしくったり、右手でアドリブの練習をしたりする時、便利なのがミュージックプログラマーです。

1. リズムをセットします。

2. コード/ベース・レコードのボタンをON。



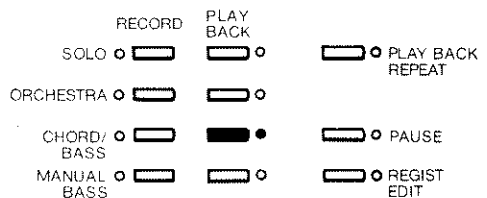
3. 楽譜にそってコード演奏をします。

テンポは再生の時に調整できますので、ゆっくり弾いてもかまいません。

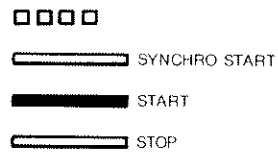
4. 演奏が終わったらミュージックプログラマー・オフのボタンをON。



5. コード/ベース・プレイバックのボタンをON。



6. リズム・スタートを押すと再生がスタート。



再生されるコード伴奏に合わせて、メロディーを弾いてみましょう。

7. デュエットを加えてみましょう。

再生に合わせてメロディーを演奏する時、メロディーにコード音が1音加わり、美しいアンサンブルを生み出します。

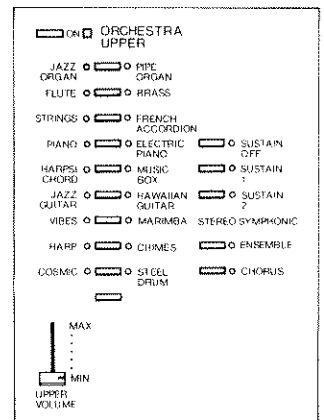
8. メロディーも記憶させてみましょう。

コード伴奏の再生に合わせてうまくメロディーが弾けるようになったら、ソロ・レコードのボタンをON。再生に合わせて記憶させます。

(23ページ参照)

オーケストラ・アッパー

ボタンをひとつ押すだけで18の楽器音が自由に選べます。また、同時に8音まで(オーケストラ・ロー、メロディプラスを使っていない時)の和音演奏ができます。

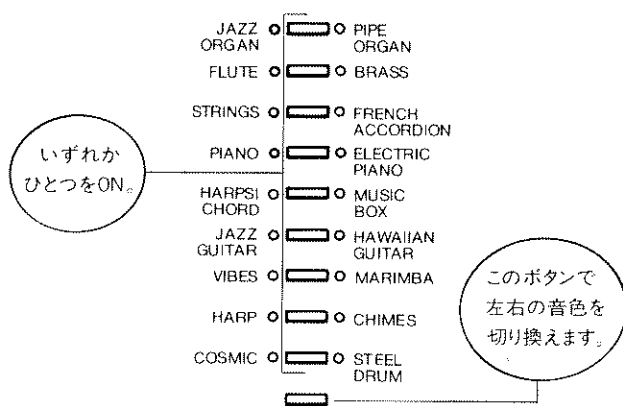


1. オーケストラ・アッパーのボタンをON。



★オーケストラ・ローとソロのボタンはOFFにしておきます。また、オーケストラ・アッパーとソロの両方がOFFの時、音色はオーケストラ・アッパーになります。

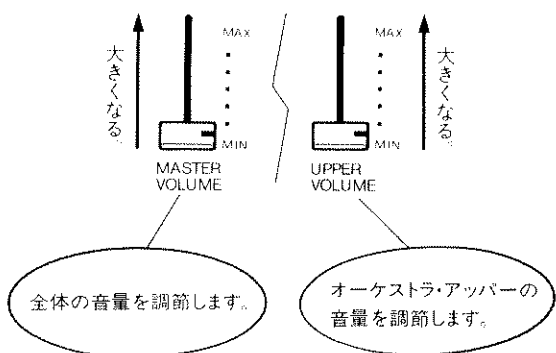
2. オーケストラ・アッパーの音色セクターから好きな音色をひとつON。



★選んだ音色のボタンをもう1度押しても、反対のサイドの音色に切り換えることができます。

★いずれかの音色セクターをONすると前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

3. 音量を調節します。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態では、ごく小さな音しかできません。

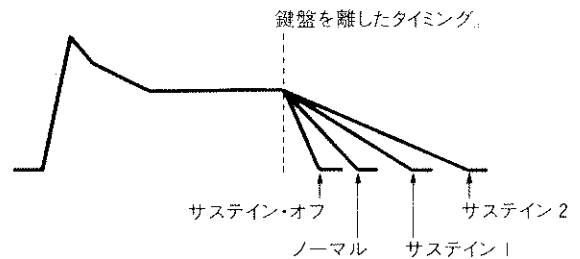
4. 鍵盤を押さえてみましょう。

選んだ音色が出たことと思います。ほかの音色に変えていろいろなメロディーを弾いてみましょう。

5. 効果を加えて。

サステイン

サステインは音に自然な余韻をつける効果です。サステイン1と2は余韻のかかり方が異なります。また、サステイン・オフはノーマルな状態よりも余韻が短くなります。これらを曲によって使いわけてください。もう1度押せばキャンセルされます。

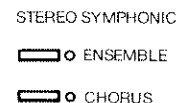


★オーケストラ・アッパー音色には大きく分けて2種類あります。

持続音	ジャズオルガン、パイプオルガン、フルート、 ブラス、ストリングス、フレンチアコーディオン、 コズミック
減ずい音	ピアノ、エレクトリックピアノ、ハープスコード、 ミュージックボックス、ジャズギター、 ハワイアンギター、バイブ、マリンバ、ハープ、 チャイム、スチールドラム

ステレオシンフォニック

音にうねりをもたせ、うるおいと広がりのある響きにする効果です。アンサンブルとコーラスの2種類から、曲にあわせて選んでください。もう1度押せばキャンセルされます。



アンサンブル：音にうねりをもたせます。

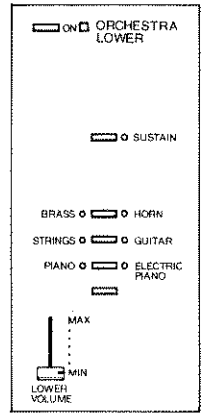
コーラス：音がゆっくりとうねり、回転しているような感じが得られます。

★音色セクターを変えると自動的にキャンセルされます。

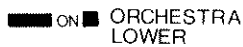
★ジャズオルガン、パイプオルガン、ストリングス、フレンチ・アコーディオン、チャイムにはあらかじめコーラス効果がかけてあります。不要の時には、キャンセルしてください。

オーケストラ・ロワー

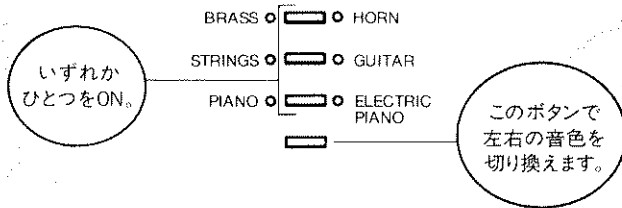
PS-6100は、低音部の鍵盤の音色が6の楽器音から自由に選べます。また、低音部のみで同時に4音までの和音演奏ができます。



1. オーケストラ・ロワーをON。



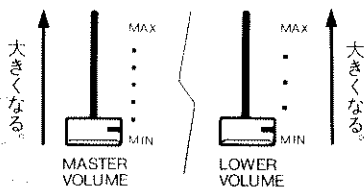
2. オーケストラ・ロワーの音色セクターから好きな音色をひとつON。



★選んだ音色のボタンをもう一度押しても、反対のサイドの音色に切り換えることができます。

★いずれかの音色セクターをONすると前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

3. 音量を調節します。

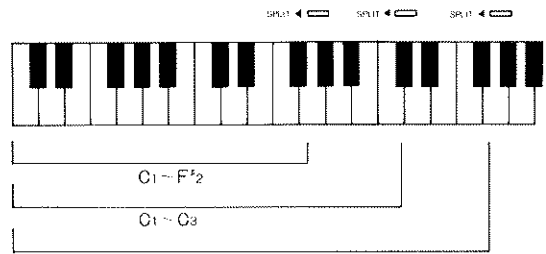


全体の音量を調節します。

オーケストラ・ロワーの音量を調節します。

★マスターボリュームが最小(MIN)の状態では、ごく小さな音しかできません。

4. スプリットで伴奏用に使う鍵盤の範囲を決めます。



[C1 ~ F²][C1 ~ C₃][C1 ~ F³]の3段階に切り換えることができます。

5. 鍵盤を押さえてみましょう。

選んだ音色が出たことと思います。いろいろな音色に変えて演奏してみましょう。

★スプリットにより高音部、低音部の鍵盤から異なる音色ができることに注目。

6. サステインを加えて。

サステインは音に自然な余韻を与える効果です。

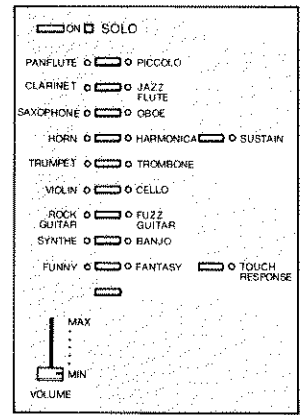
★オーケストラ・ロワー音色には大きく分けて2種類あります。

持続音	ブラス、ホルン、ストリングス
減ずい音	ギター、ピアノ、エレクトリックピアノ

★オーケストラ・ロワー使用時には、オーケストラ・アッパーは同時に4音まで発音します。

ソロ

ソロパートを演奏するためのソロ音色は、リアルでいきいきとした楽器音です。

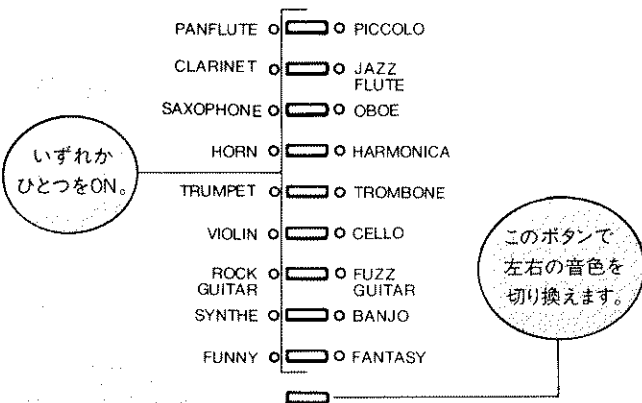


1. ソロのボタンをON。

ON SOLO

★オーケストラ・アッパーとオーケストラ・ローはOFFにしておきます。

2. ソロ音色セレクターから好きな音色をひとつON。

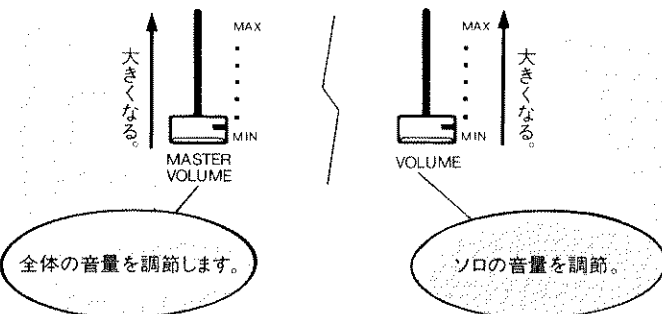


★選んだ音色のボタンをもう1度押しても、反対のサイドの音色に切り換えることができます。

★いずれかの音色セレクターをONすると前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

★ソロは単音で鳴り、高音が優先されます。

3. 音量を調節します。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態では、ごく小さな音しかでません。

4. 鍵盤を押さえてみましょう。

選んだ音色が出てきたことと思います。ほかの音色に変えていろいろなメロディーを弾いてみましょう。

5. 効果を加えて。

サステイン

サステインは音に自然な余韻を与える効果です。

タッチレスポンス

鍵盤を弾く強さにより音量、音色、ビブラートの深さなどが変化し、弾く人の気持ちを表現することができます。

TOUCH RESPONSE

★選んでいる音色によりかかるタッチレスポンスの効果は異なります。

ソロ&オーケストラ

オーケストラ・アッパーの音色とソロ音色の両方をアンサンブルさせることで、美しい効果を生むことができます。

1. オーケストラ・アッパーとソロのボタンを押し、それぞれ音色をひとつずつ選びます。(8、10ページ参照)

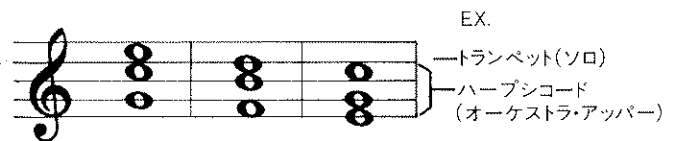
2. 音量を調節します。

ソロ用、オーケストラ・アッパー用、それぞれのボリュームを調節します。

★マスターボリュームが最小(MIN)の状態ではごく小さな音しかでません。

3. 鍵盤を押さえてみましょう。

鍵盤を2つ以上同時に弾いてみましょう。いちばん高い音だけにソロ音色が加わり、美しいアンサンブル効果が生まれます。

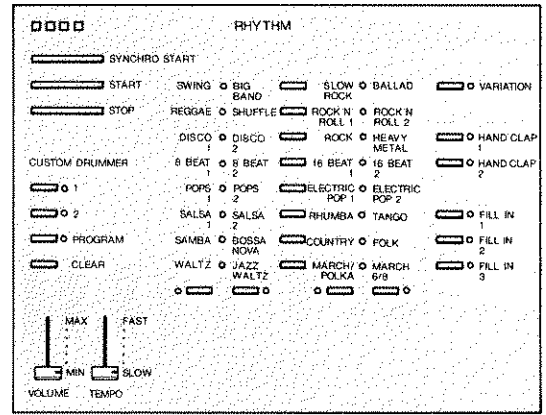


★ソロ用、オーケストラ・アッパー用、それぞれのボリュームを調節することによりメロディーがひきたつようになります。

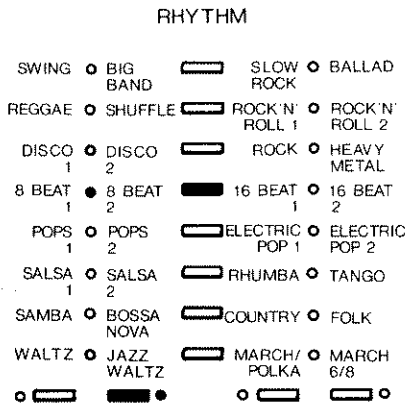
★1音だけ押した場合には、ソロ、オーケストラ・アッパーの両方の音が出ます。

リズム

PS-6100のリズムは、実際の打楽器音を録音し、デジタル変換によってメモリーしたPCM音源の使用により、ライブ感覚あふれるリアルな音質です。

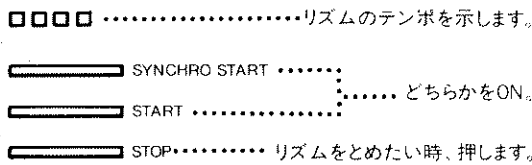


1. タテ、ヨコ両方のリズムセクターで、リズムをひとつ選びます。
例：8ビート2を選ぶときは-



★いずれかのリズムセクターをONすると、前に選んだリズムは自動的にキャンセルされます。

2. スタート、シンクロスタートどちらかをON。



スタート

ボタンを押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

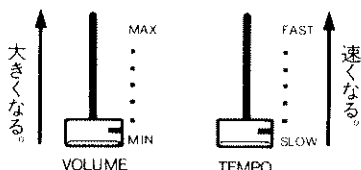
シンクロスタート

オートベースコード用鍵盤を押すと同時に選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。赤いランプでテンポを確認して、メロディーとリズムを同時にスタートさせることができます。

★オートベースコード用鍵盤の範囲はスプリットで選びます。

3. リズムボリュームでリズム音の大きさを調節。

4. テンポレバーでリズムの速さを調節。



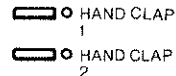
5. バリエーションをON。

リズムのパターンが変化します。もう1度押せばキャンセルされます。



6. ハンドクラップをON。

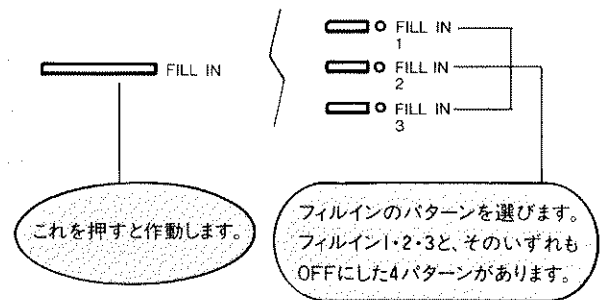
自動的に手拍子が加わります。1と2の2種類がありますが、同時に両方を押すこともできます。もう1度押せばキャンセルされます。



7. リズムに変化を。

フィルイン

メロディーの切れ目など必要な時にフィルイン・バーを押すと、その小節の終わりまで変則的なリズムに変わります。



- ★フィルインを押し続けると変則的なリズムが長く続きます。
- ★フィルインのパターンは選んだリズムによって変化します。
- ★フィルインでは、オートベースコードのパターンも変化します。
- ★フィルインを押したあと、その小節中にもう1度押すと通常のリズムにもどります。

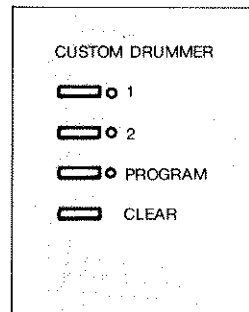
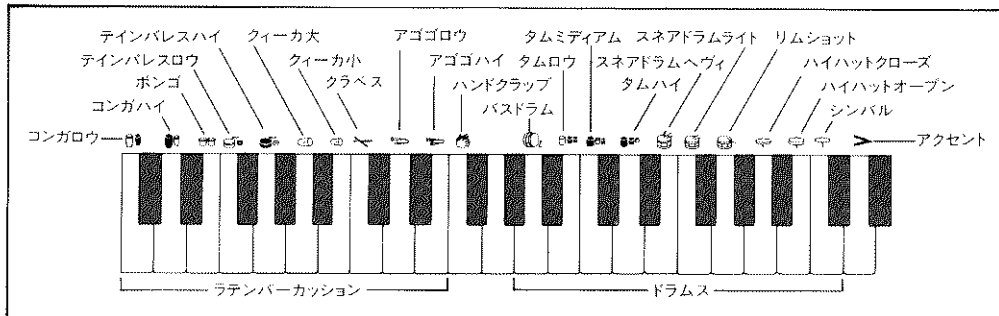
ブレイク

ブレイク・バーを押すと、その小節の終わりまでリズムとオートベースコードが消えます。その小節の途中でもう1度ブレイク・バーを押すともとにもどります。また、途中でフィルイン・バーを押してフィルインを入れながら、もとにもどすこともできます。

★フィルイン・バー、ブレイク・バーがリズムスタートの前に押されていると、1小節目がフィルインまたはブレイクになります。

カスタムドラマー

鍵盤を打楽器として使用したり、オリジナルのリズムパターンをつくり、メモリーさせておくことができます。(最低5日間有効)



■鍵盤を打楽器として使用。

1.プログラムのボタンをON。

★カスタムドラマー1・2が点灯している場合は、リズムセクターのどれかを押しランプを消します。

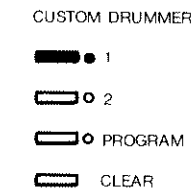
2.打楽器の絵にしたがって鍵盤をたたきます。

3.普通の状態に戻す時は、リズムのストップボタンを押します。

■オリジナルのリズムをつくり、メモリー。

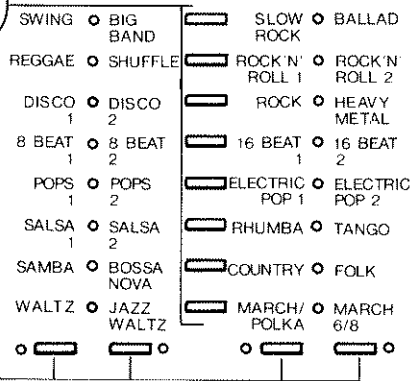
1.リズムセクターで、つくりたいリズムのイメージに近いリズムパターンを選び、そのリズムのタテのセクターを押しながら、カスタムドラマー1をON。

いずれかひとつを押さえたまま、カスタムドラマー1をON。



いずれかひとつをON。

RHYTHM

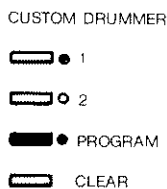


★この時選択したリズムパターンをもとにオリジナルのリズムパターンをつくるシステムのため、ワルツで4拍子、またスウィングなど $\frac{3}{4}$ 拍子で8ビート、16ビートなどはつくれません。

$\frac{4}{4}$ 系	ロックンロール1・2、ディスコ1・2、ロック、ヘヴィメタル、8ビート1・2、16ビート1・2、ポップス1・2、カントリー、フォーク、エレクトリックポップ1・2、サルサ1・2、ルンバ、タンゴ、サンバ、ボサノバ、マーチ/ポルカ
$\frac{12}{8}$ 系	スウィング、ビッグバンド、スローロック、バラード、レゲエ、シャッフル、マーチ $\frac{6}{8}$
$\frac{3}{4}$ 系	ワルツ、ジャズワルツ

2.プログラムのボタンをON。

選んだリズムのパターンが2小節くり返し鳴ります。



★オートベースコードのシングルフィンガーコード/フィンガードコードがONされていると、コードとベース音が鳴ります。オートベースコードをOFFにしてください。

★この時、カスタムドラマー用鍵盤以外を押しても音は鳴りません。

3.クリアのボタンを押しながら、カスタムドラマー用の鍵盤(C1-F2、A2-D4)の白鍵を端から全部押します。

打楽器音が消え、4分音符単位でハイハットクローズがメトロノームとして鳴ります。

★変えたい打楽器の鍵盤だけを押して、それだけを消すこともできます。

4.テンポコントロールでテンポを調節。

5.好みの打ち方で、カスタムドラマー用の鍵盤をたたきます。

リアルタイムに打楽器音が鳴りながら2小節のリズムパターンとしてメモリーされます。1小節パターンをメモリーさせたい時も、2小節分のリズムをたいてください。

★ハイハットクローズをクリアするとメトロノーム音も消えますが、1度リズムストップを押して、もう1度プログラムをONすればまた4分音符単位でメトロノームが鳴りだします。

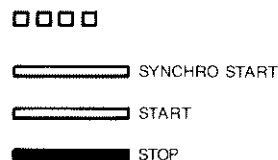
★16分音符の単位までメモリーします。それ以上細かくたたいてもメモリーしません。

★クリアせずに上からかぶせることもできます。

★1小節目の1拍目にテンポランプが4つとも点灯します。

★ひとつのパターンにラテンパーカッションから4つ、ドラムスからハイハットクローズとその他4つまでメモリーします。

6.気に入ったリズムができたなら、リズムのストップボタンをON。



これでメモリーは完了です。同じようにカスタムドラマー2にもメモリーさせましょう。

★カスタムドラマーを使って演奏している時、オートベースコードやフィルインのパターンは、はじめに選んだリズムセクターのパターンになります。また、バリエーションもはじめにリズムを選んだ時の状態になります。あとでON/OFFはできません。

8ビートをつくってみましょう。

カスタムドラマーを使って8ビートのリズムをつくってみましょう。

このリズムのパターンをつくります

1.リズムセクターで8ビート1を選び、そのセクターを押しながらカスタムドラマー1をON。

RHYTHM

SWING	<input type="radio"/> BIG BAND	<input type="checkbox"/>	SLOW ROCK	<input type="radio"/> BALLAD
REGGAE	<input type="radio"/> SHUFFLE	<input type="checkbox"/>	ROCK 'N' ROLL 1	<input type="radio"/> ROCK 'N' ROLL 2
DISCO	<input type="radio"/> DISCO 1	<input type="checkbox"/>	ROCK	<input type="radio"/> HEAVY METAL
DISCO	<input type="radio"/> DISCO 2	<input type="checkbox"/>	ELECTRIC POP 1	<input type="radio"/> ELECTRIC POP 2
8 BEAT	<input type="radio"/> 8 BEAT 1	<input type="checkbox"/>	16 BEAT 1	<input type="radio"/> 16 BEAT 2
POPS	<input type="radio"/> POPS 1	<input type="checkbox"/>	ELECTRIC POP 1	<input type="radio"/> ELECTRIC POP 2
POPS	<input type="radio"/> POPS 2	<input type="checkbox"/>	RHUMBA	<input type="radio"/> TANGO
SALSA	<input type="radio"/> SALSA 1	<input type="checkbox"/>	COUNTRY	<input type="radio"/> FOLK
SALSA	<input type="radio"/> SALSA 2	<input type="checkbox"/>	MARCH/POLKA	<input type="radio"/> MARCH 6/8
PROGRAM	SAMBA	<input type="checkbox"/>	COUNTRY	<input type="radio"/> FOLK
CLEAR	BOSSA NOVA	<input type="checkbox"/>	MARCH/POLKA	<input type="radio"/> MARCH 6/8
WALTZ	JAZZ WALTZ	<input type="checkbox"/>	MARCH/POLKA	<input type="radio"/> MARCH 6/8

CUSTOM DRUMMER

- 1
- 2
- PROGRAM
- CLEAR

2.プログラムのボタンをON。

3.打楽器をすべてクリアします。

4.テンポコントロールでテンポを調節。

5.まず、アゴゴのリズムをメモリー。

アゴゴのリズム

アゴゴ・ロウとアゴゴ・ハイの鍵盤をメトロノーム音と同じタイミングでたたきます。まちがえた時はもう1度クリアしてやりなおします。クリアをする時、鍵盤を押さえてからクリアのボタンをONしたのでは、音は消えません。

6.次にスネアドラム(ヘヴィ)のリズムをメモリー。

スネアドラムのリズム

このリズムは、アゴゴの2拍目、4拍目と同じタイミングでたたきます。

7.今度は、ハイハットをメモリー。

ハイハットのリズム

2小節目の2拍目までは、ハイハットのクローズの鍵盤をたたきます。このリズムは、アゴゴが1回鳴る間に2回たたきます。

2小節目の3拍目と4拍目のうら(○印のついているところ)はハイハットのオープンをたたきます。

8.最後に、バスドラムをメモリー。

バスドラムのリズム

7でメモリーさせた、ハイハットのリズムを聴きながら、たたくとタイミングがとりやすくなります。

9.アクセントをつけます。

アクセント(>)の鍵盤を、スネアドラム(ヘヴィ)と同じタイミングでたたきます。

10.うまくできたら、リズムのストップボタンをON。

これでメモリーは完了です。

11.リズムセクターで8ビート2を選び、スタートをON。

ここでつくったリズムは8ビート2と同じです。つくったリズムと聴きくらべてみましょう。

リズムサンプル

実際の曲に使われているリズム・パターンを紹介します。
オリジナルをつくる際に役立ててください。

ドラムスとパーカッションの記譜のしかた

スネアドラムライト (ヘヴィリムショット) ハイハットクローズ ハイハットオープン

バスドラム

Dr.

Per.

<パーカッションは楽器名を記入します。>

※26ページ以降の楽譜にあるカスタムドラマー用リズムパターンも上記に基いて書いてあります。

NO.1

Dr.

リムショット

Per.

<クラベス>

NOTE

渡辺貞夫の「ランデブー」よりスティーブ・ガットのリムショットの16ビートパターン。バスドラムのタイミングはフュージョン・サウンドによく使われます。リズム・セレクターはポップスを選びます。

NO.2

Dr.

NOTE

NO.1はハイハットを8つでぎざんだ16ビートでしたが、NO.2は16に細かくぎざんだパターン。ミュージックプログラマーを使うとき、マニュアルベースでバスドラムと同じタイミングで弾くと効果的です。リズム・セレクターは16ビート系のものを選んでください。(cf.「ミス・ミー」/カルチャークラブ)

NO.3

Dr.

NOTE

TOTO独特の3連符系のリズムパターンです。バスドラムのタイミングに注意してください。リズム・セレクターはシャッフルを選びます。(cf.「ロザーナ」/TOTO)

NO.4

Dr.

Per.

<タイーカ小>

<タムロウ>

NOTE

ハービー・ハンコックの「フィーチャーショック」の中よりロック・イット。機械的なリズムのおもしろさがでています。16ビート系のリズム・セレクターを選んでください。

NO.5

Dr.

NOTE

スティービー・ワンダーで大ヒットしたレゲエのリズムのナンバーです。いわゆる本場のレゲエのリズムとは若干異なりますが、感じは出ると思います。2小節目のハイハットに要注意。リズム・セレクターはシャッフルにしてください。(cf.「マスター・ブラスター」/スティービー・ワンダー)

NO.6

Dr.

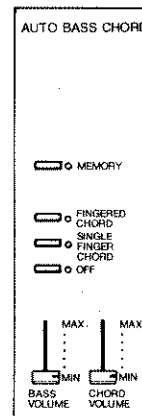
NOTE

今はやりのシンプルなリズムの典型的なパターンです。レコードではハイハットが8分音符で入っていますが、かなりはっきり強弱が入っているため、思いきって4分音符にしたほうが感じが出ると思います。リズム・セレクターは8ビート系のものを選んでください。

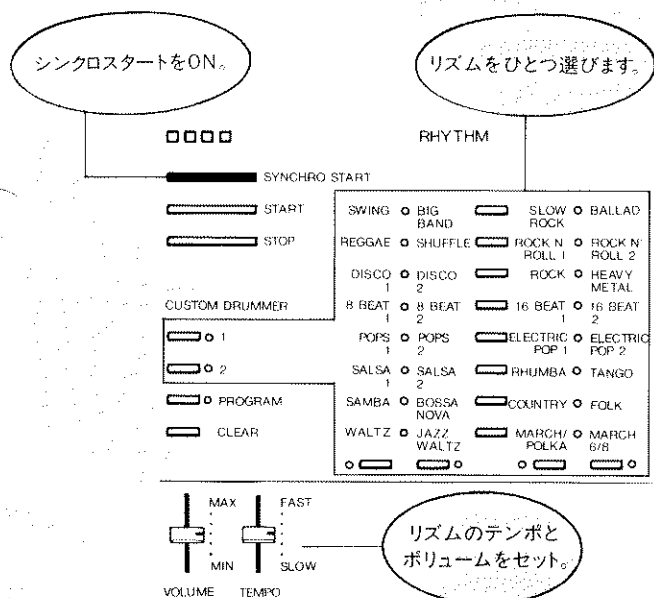
(cf.「Hey,Nineteen」/スティービー・ワンダー)

オートベースコード——シングルフィンガーコード

シングルフィンガーコードは鍵盤をひとつ押えるだけで、和音とベース音による自動伴奏ができます。



1.リズムをセット。(11ページ参照)



5.スプリットでオートベースコード用鍵盤の範囲を決めます。

6.オートベースコード用鍵盤をどれかひとつ押さえます。

スプリットで設定したオートベースコード用鍵盤を押すとリズムがスタート。和音とベース音がリズムにのってでてきます。

★リズムをセットせずにオートベースコードを使うと、和音とベース音の伴奏はリズムにのらない持続音になります。曲によっては、この伴奏の方が効果的な場合があります。また、リズムに合わせてづらいたときも、持続音の伴奏で練習するとやさしくできます。

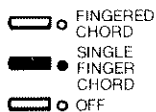
★リズムのバリエーションは、オートベースコードのコードとベースの音色およびパターンも変化させます。

★オートベースコードの音色は、オーケストラ・ロワーで設定することはできません。

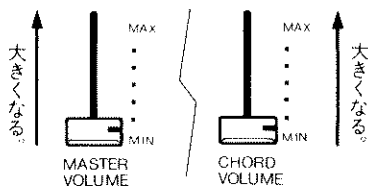
7.メモリーをON。

メモリーのボタンを押すと、鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ、鍵盤を押してください。

2.シングルフィンガーコードのボタンをON。

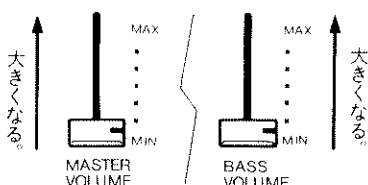


3.コードボリュームで、コード伴奏の音量を調節。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態ではごく小さな音しかできません。

4.ベースボリュームで、ベース音の音量を調節。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態ではごく小さな音しかできません。

● MEMORY

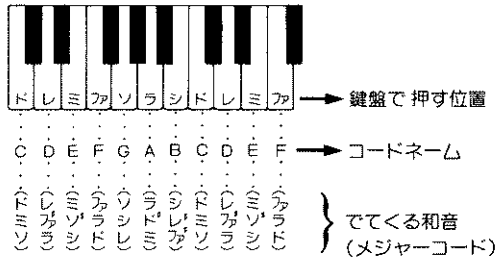
★シングルフィンガーコード、フィンガードコードの両方に使えます。

★コードを変えるときは、指を一度鍵盤から離してください。

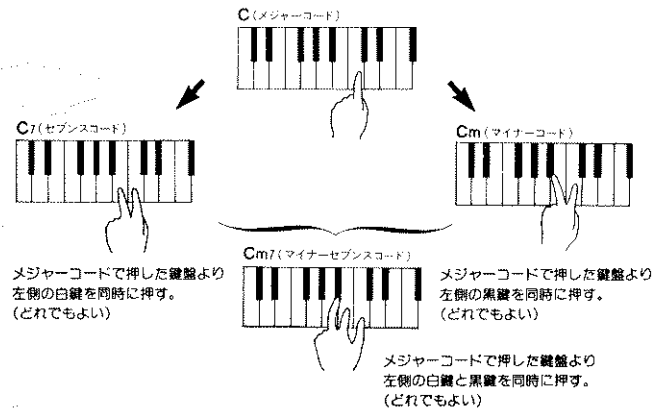
★リズムをセットしない場合、持続音が鳴り続けます。メモリーを解除すれば鳴りやみます。

シングルフィンガーコードのだし方

次の図は、オートベースコード用鍵盤を押す位置と、出てくる和音の関係を示したものです。



伴奏には例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下の図のように、2つの鍵盤を同時に押すことで出すことができます。



※#,bがついていたら、音符についている場合と同じように、半音上げる(#)半音下げる(b)ようにします。

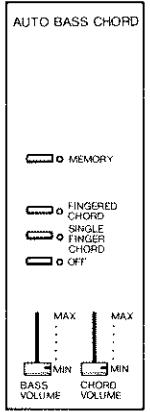


コード早見表 シングルフィンガーコード

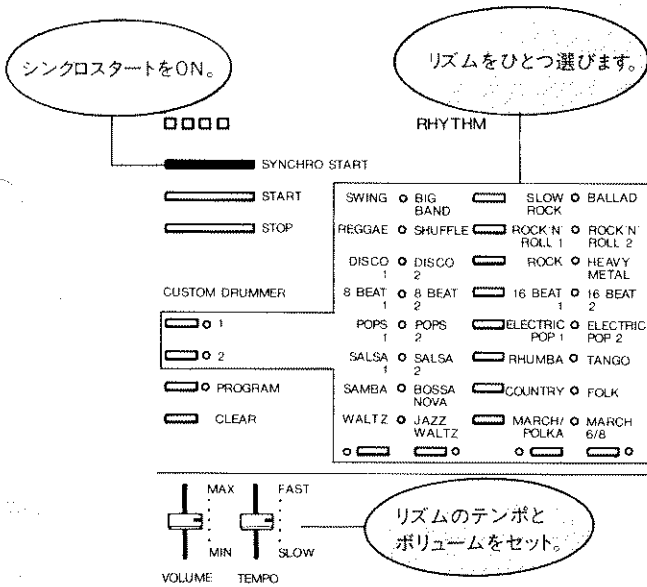
メジャーコード	マイナーコード	セブンスコード	マイナーセブンスコード
C	Cm	C7	Cm7
C [♯] (D [♯])	C [♯] m (D [♯] m)	C [♯] 7 (D [♯] 7)	C [♯] m7 (D [♯] m7)
D	Dm	D7	Dm7
E [♯] (D [♯])	E [♯] m (D [♯] m)	E [♯] 7 (D [♯] 7)	E [♯] m7 (D [♯] m7)
E	Em	E7	Em7
F	Fm	F7	Fm7
F [♯] (G [♯])	F [♯] m (G [♯] m)	F [♯] 7 (G [♯] 7)	F [♯] m7 (G [♯] m7)
G	Gm	G7	Gm7
A [♯] (G [♯])	A [♯] m (G [♯] m)	A [♯] 7 (G [♯] 7)	A [♯] m7 (G [♯] m7)
A	Am	A7	Am7
B [♯] (A [♯])	B [♯] m (A [♯] m)	B [♯] 7 (A [♯] 7)	B [♯] m7 (A [♯] m7)
B	Bm	B7	Bm7

オートベースコード — フィンガードコード

フィンガードコードは和音を押えることで、和音とベース音の自動伴奏ができます。



1. リズムをセット。(11ページ参照)



5. スプリットでオートベースコード用鍵盤の範囲を決めます。

6. オートベースコード用鍵盤で和音を押えます。

スプリットで設定したオートベースコード用鍵盤を押すとリズムがスタート。和音とベース音かリズムによってでできます。

★リズムをセットせずにオートベースコードを使うと、和音とベース音の伴奏はリズムにのらない持続音になります。曲によっては、この伴奏の方が効果的な場合があります。また、リズムに合わせづらいつきも、持続音の伴奏で練習するとやさしくできます。

★リズムのバリエーションは、オートベースコードのコードとベースの音色およびパターンも変化させます。

★オートベースコードの音色は、オーケストラ・ローで設定することはできません。

7. メモリーをON。

メモリーのボタンを押すと、鍵盤から指を離したあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ、鍵盤を押してください。

★シングルフィンガーコード、フィンガードの両方に使えます。

★コードを変えるときは、指を一度鍵盤から離してください。

★リズムをセットしない場合、持続音が鳴り続けます。メモリーを解除すれば鳴りやみます。

メロディープラス

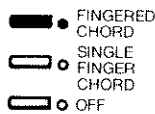
オートベースコードを使用している時、メロディー演奏にコード音の中の1音もしくは2音が自動的に加わり、厚みのある重音演奏ができます。

デュエットをONすると1音、トリオだと2音が加わります。もう1度押せばキャンセルされます。

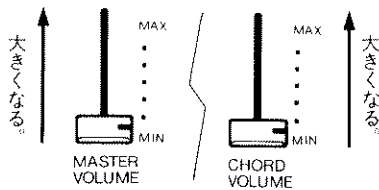
★メロディープラスはソロ、オーケストラ・アッパーともに有効ですがオーケストラ・アッパーボリュームを必ず上げてください。

★ソロ、オーケストラ・アッパーの両方のボタンを押した時には、メロディーはソロ音色、メロディープラスはオーケストラ・アッパー音色で出ます。

2. フィンガードコードをON。

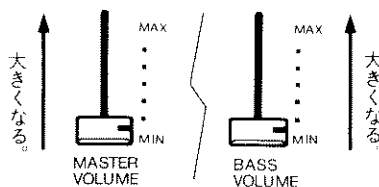


3. コードボリュームでコード伴奏の音量を調節。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態ではごく小さな音しかでません。

4. ベースボリュームで、ベース音の音量を調節。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態ではごく小さな音しかでません。

コード早見表

フィンガードコード

メジャーコード

C	
C ⁷ (D ⁷)	
D	
E ⁷ (D ⁷)	
E	
F	
F ⁷ (G ⁷)	
G	
A ⁷ (G ⁷)	
A	
B ⁷ (A ⁷)	
B	

マイナーコード

Cm	
C ⁷ m (D ⁷ m)	
Dm	
E ⁷ m (D ⁷ m)	
Em	
Fm	
F ⁷ m (G ⁷ m)	
Gm	
A ⁷ m (G ⁷ m)	
Am	
B ⁷ m (A ⁷ m)	
Bm	

セブンスコード

C7	
C ⁷ 7 (D ⁷ 7)	
D7	
E ⁷ 7 (D ⁷ 7)	
E7	
F7	
F ⁷ 7 (G ⁷ 7)	
G7	
A ⁷ 7 (G ⁷ 7)	
A7	
B ⁷ 7 (A ⁷ 7)	
B7	

マイナーセブンスコード

Cm7	
C ⁷ m7 (D ⁷ m7)	
Dm7	
E ⁷ m7 (D ⁷ m7)	
Em7	
Fm7	
F ⁷ m7 (G ⁷ m7)	
Gm7	
A ⁷ m7 (G ⁷ m7)	
Am7	
B ⁷ m7 (A ⁷ m7)	
Bm7	

メジャーセブンスコード

Cmaj7

C[♯]maj7 (D[♯]maj7)

Dmaj7

E[♯]maj7 (D[♯]maj7)

E[♭]maj7

F[♯]maj7

F[♯]maj7 (G[♯]maj7)

Gmaj7

A[♯]maj7 (G[♯]maj7)

A[♭]maj7

B[♯]maj7 (A[♯]maj7)

Bmaj7

ディミニッシュコード

Cdim

C[♯]dim (D[♯]dim)

Ddim

E[♯]dim (D[♯]dim)

E[♭]dim

F[♯]dim

F[♯]dim (G[♯]dim)

Gdim

A[♯]dim (G[♯]dim)

A[♭]dim

B[♯]dim (A[♯]dim)

Bdim

オーグメントコード

Caug

C[♯]aug (D[♯]aug)

Daug

E[♯]aug (D[♯]aug)

E[♭]aug

F[♯]aug

F[♯]aug (G[♯]aug)

Gaug

A[♯]aug (G[♯]aug)

Aaug

B[♯]aug (A[♯]aug)

Baug

マイナーセブンス
フラットディッドフィフス
コード

Cm7⁻⁵

C[♯]m7⁻⁵ (D[♯]m7⁻⁵)

Dm7⁻⁵

E[♯]m7⁻⁵ (D[♯]m7⁻⁵)

E[♭]m7⁻⁵

F[♯]m7⁻⁵

F[♯]m7⁻⁵ (G[♯]m7⁻⁵)

Gm7⁻⁵

A[♯]m7⁻⁵ (G[♯]m7⁻⁵)

A[♭]m7⁻⁵

B[♯]m7⁻⁵ (A[♯]m7⁻⁵)

Bm7⁻⁵

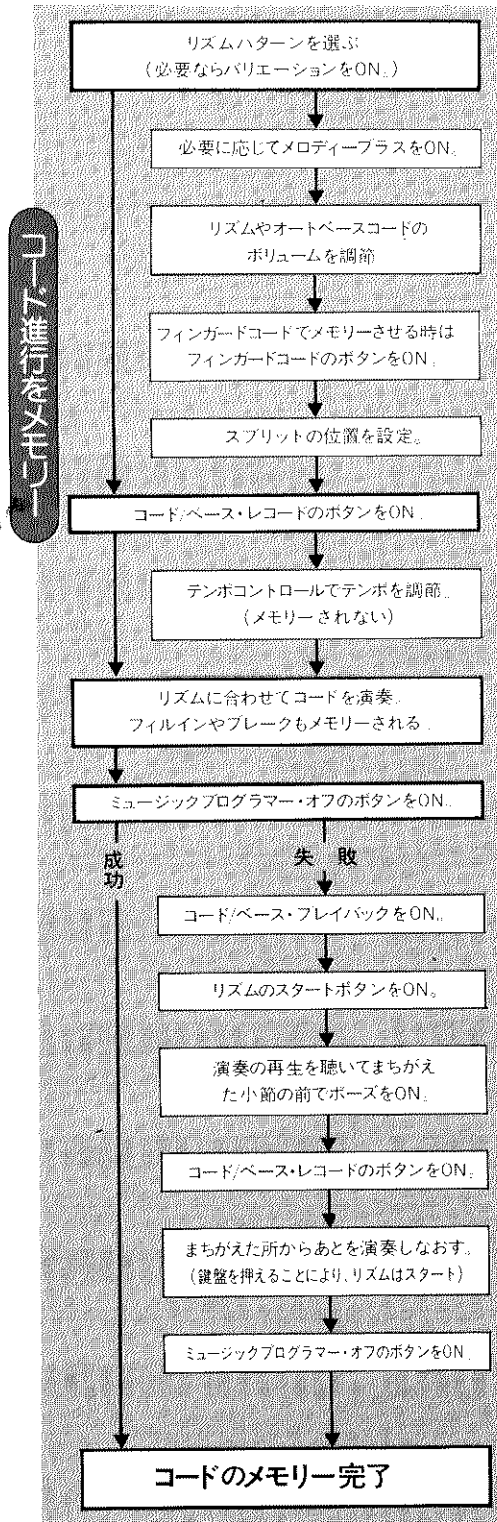
※M、m、7th、m7、M7、m7⁻⁵、7thsus4では、転回型にしてもベースは自動的にルート弾きますが、それ以外のコードでは、最低音をルートとしてベースが鳴ります。

ミュージックプログラマー

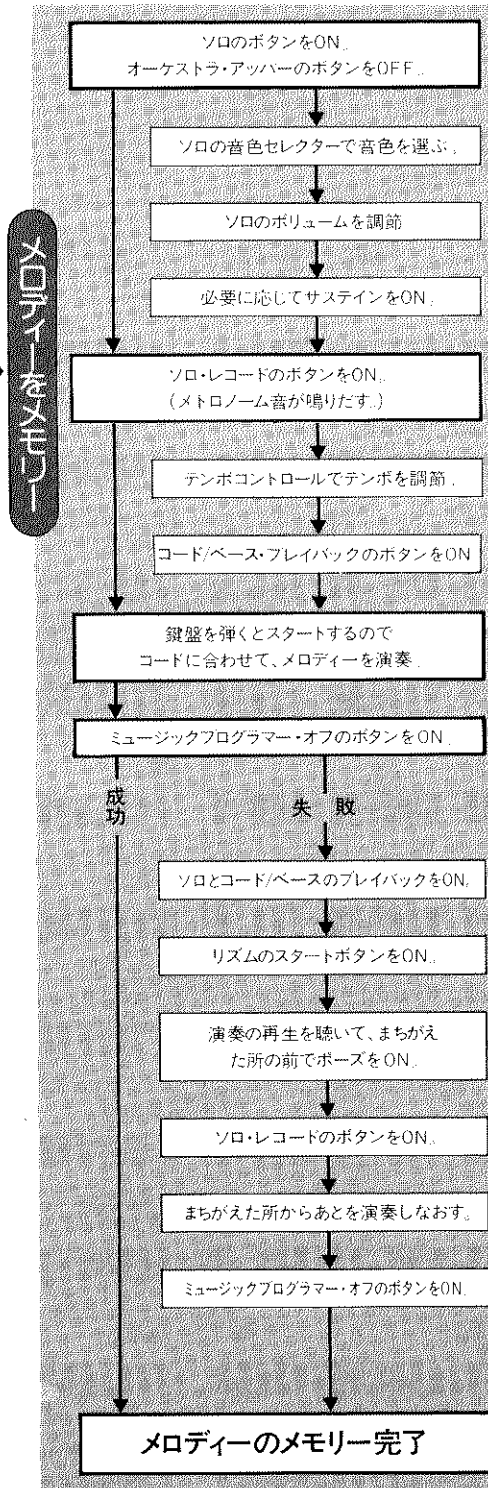
ソロ、オーケストラ、コード、ベースを、それぞれ独立してメモリーさせ、それらを同時に再生することができます。
ミュージックプログラマーにメモリーさせた演奏は最低5日間有効です。

ミュージックプログラマー・フローチャート

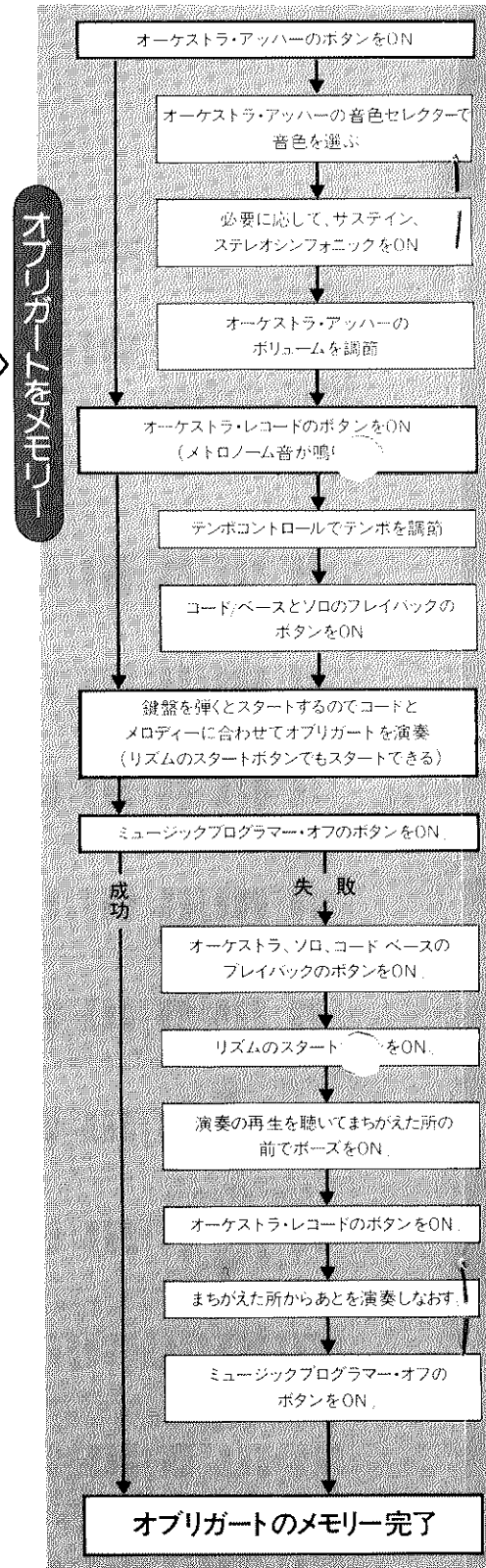
ここに示したのはミュージックプログラマーを使って、1曲をまずは大枠の所だけを追う手順でメモリーさせてみ ましよ



メモリー容量 ●コード
1小節に1コード入れた場合で約200小節
☆演奏のしかたによって少なくなることがあります。

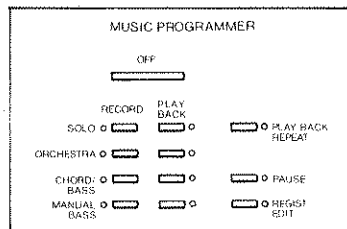


メモリー容量 ●オーケストラ
8分音符で約600音
☆演奏のしかたによって少なくなることがあります。

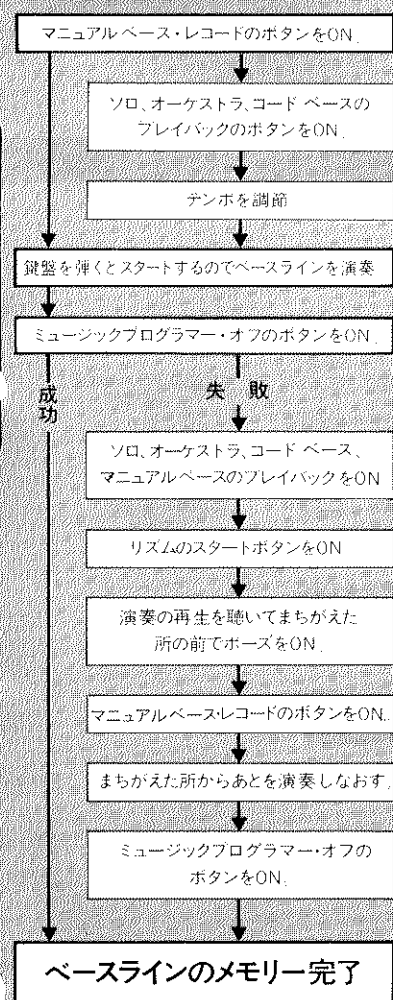


メモリー容量 ●ソロ
8分音符で約600音
☆演奏のしかたによって少なくなることがあります。

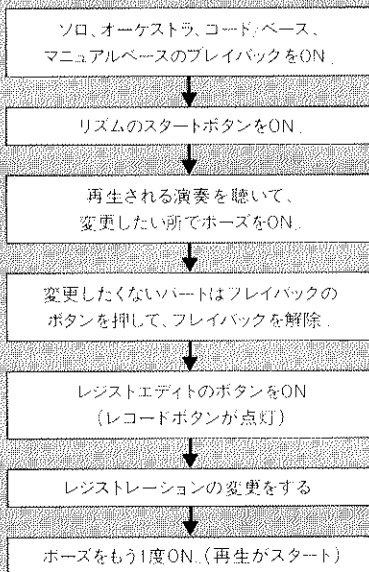
曲をメモリーする一般的な手順です。
 しょう。また、曲によってメモリーさせやすいパートからメモリーしてください。



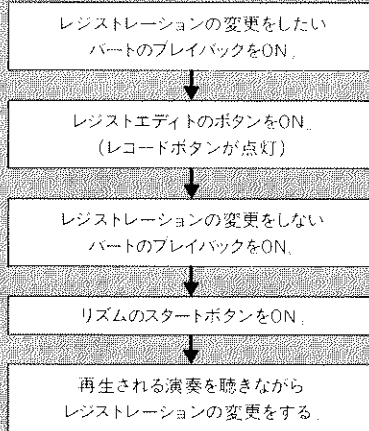
1 オリジナルのベースラインをメモリー



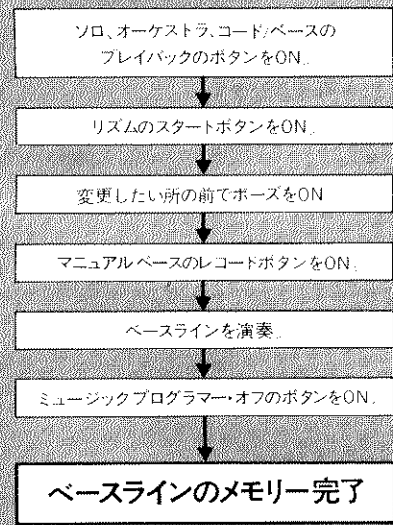
方法1ーポーズして変更



方法2ー鳴らしながら変更



2 オートベースコードのベースを部分的に変更



ソロ、オーケストラ、コード/ベース、マニュアルベースのプレイバックをON。

- ★再生をスタートさせる時はリズムのスタートボタン、フィルイン・バー、ブレーク・バー、鍵盤のいずれかを押しします。
- ★プレイバック・リピートのボタンをONすると、くり返し再生されます。各パートのプレイバックをONしてから、プレイバックリピートをONします。

※レジストレーションとは、アレンジャーになったつもりで音色、リズム、それらのボリュームのバランス等を設定することです。

メモリーするもの	メモリーしないもの
<ul style="list-style-type: none"> ●コード リズムセクター バリエーション ハンドクラップ フィルイン ブレーク リズムボリューム コードボリューム ベースボリューム メロディープラス 	<ul style="list-style-type: none"> ●ソロ ソロ音色セクター ソロボリューム サステイン ●オーケストラ オーケストラ・アッパー音色セクター アッパーボリューム サステイン ステレオシンフォニック
	<ul style="list-style-type: none"> ●オーケストラ・ロワー ●マスターボリューム ●テンポコントロール ●スプリットの位置 ●ソロのタッチレスポンス ●フットスイッチを使用した時のサステイン、グライド ●リズムストップ

メモリー容量 ● マニュアルベース
 8分音符で約400音
 ※演奏のしかたによって少なくなることがあります。

「聖者の行進」をメモリーさせてみましょう。(5ページの楽譜を開いてください)

コード

●メモリー(記憶)

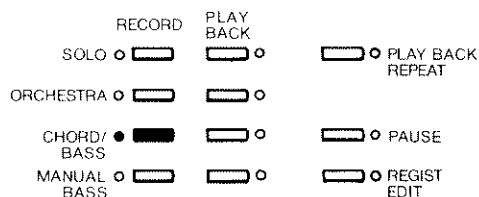
1.リズムをセット。(6ページ参照)

ここではビッグバンドを選びます。ハンドクラップもON。

★リズムセレクターの位置と、バリエーション、ハンドクラップ、フィルイン1・2・3、リズムボリューム、メロディープラスの状態もメモリーします。

★テンポは再生の時に調節できるので、ゆっくり弾いてもかまいません。

2.コード/ベース・レコードのボタンをON。



★シングルフィンガーコード、メモリー、シンクロスタートが自動的に作動します。

フィンガードコードで記憶させたい時は、フィンガードコードのボタンをON。

★スプリットの位置を右端にしておくと、コードの鍵盤がたりないという失敗が少ない。

3.コード演奏をしてメモリーさせます。

鍵盤を押さえるとリズムがスタートします。

★フィルイン、ブレイクもメモリーします。

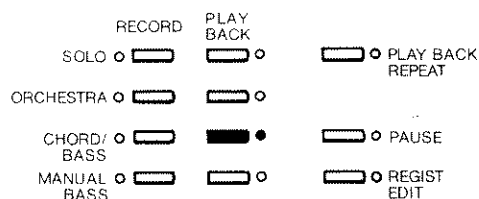
★フットスイッチを使用している時、フィルインとブレイクはメモリーしますが、リズムストップ、グライド、サステインはメモリーしません。

4.メモリーが終わったら、ミュージックプログラマー・オフのボタンをON。

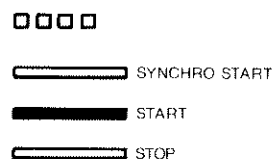
★リズムのストップボタンでも停止させることができます。

●再生

1.コード/ベース・プレイバックのボタンをON。



2.リズムのスタート・ボタンをON。



再生がスタート。記憶した量が終わると自動的にストップします。途中でストップしたい時は、ミュージックプログラマー・オフのボタンをON。

★フィルイン・バー、ブレイク・バー、鍵盤を押しても再生がスタートします。

●変更

(メモリーに失敗した時など途中から変更したい時)

1.メモリーさせたコード演奏を再生させます。

2.変更したい小節の前でポーズをON。



★レジストレーションを変更することもできます。

3.コード/ベース・レコードのボタンをON。

4.コード演奏をしてメモリーさせます。

最後まで演奏します。

★部分的に変更することはできません。

★カスタム・ドラマーを選んだ場合、メモリー後にカスタムドラマーの内容を変更すると、変更したリズムで再生されます。

ソロ

●メモリー(記憶)

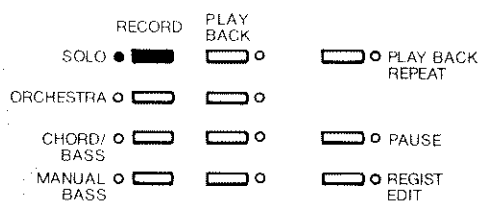
1. ソロ音色をひとつ選んでON。

ここではトランペットを選びます。

★ボリュームとサステインの状態もメモリーされます。タッチレスボンスはメモリーされません。

★オーケストラ・アッパーのボタンはOFFにします。

2. ソロ・レコードのボタンをON。



★シンクロスタートが自動的に作動。

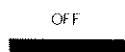
3. リズムのスタートボタンでリズムをスタート。ソロ・パートを演奏してメモリーさせます。



★あらかじめメモリーさせておいたコード演奏を再生しながら、メロディーのメモリーをした方が合わせやすい。

★フィルイン・バー、ブレイク・バーを押してもリズムはスタートしません。

4. メモリーが終わったら、ミュージックプログラマー・オフのボタンをON。



※再生したい時は、ソロ・プレイバックのボタンを押し、リズムのスタートボタンをON。また、変更したい時は再生途中でポーズをONし、ソロ・レコードのボタンを押して弾きなおします。

オーケストラ

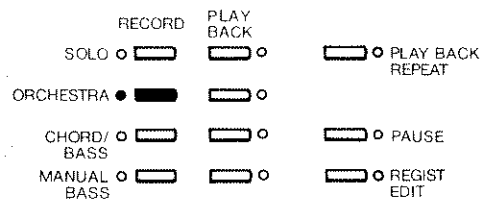
●メモリー(記憶)

1. オーケストラ・アッパー音色をひとつ選んでON。

ここではブラスを選びます。

★アッパーボリューム、サステイン、ステレオシンフォニックの状態もメモリーします。

2. オーケストラ・レコードのボタンをON。



★シンクロスタートが自動的に作動。

3. リズムのスタートボタンでリズムをスタート。オーケストラのパートを演奏して、メモリーさせます。



★ミュージックプログラマーでは単音しかメモリーされません。高音が優先されます。

★あらかじめメモリーさせておいたコードとメロディー演奏を再生しながら、メモリーさせると合わせやすい。

★オーケストラをソロよりも先にメモリーすることもできますが、その場合、オーケストラを再生しながらソロを演奏するとソロのパートがオーケストラとアンサンブルされますが、メモリーはされません。

★フィルイン・バー、ブレイク・バーを押してもリズムはスタートしません。

4. メモリーが終わったら、ミュージックプログラマー・オフのボタンをON。

※再生したい時は、オーケストラ・プレイバックのボタンを押し、リズムのスタートボタンをON。また、変更したい時は、再生途中でポーズをONし、オーケストラ・レコードのボタンを押して弾きなおします。

ベース ——できる人は挑戦してみてください。——

●メモリー(記憶)

- 1.コード/ベース・プレイバックをON。
- 2.マニュアルベース・レコードのボタンをON。
- 3.弾きはじめると、コードが再生されます。

そのまま最後までベースのパートを弾きます。

メモリーさせたオートベースコードからベース音が消えて再生されます。この時、ベース音は選んだリズム・パターンにプリセットされている音色で鳴ります。

★61鍵すべてメモリーしますが、低い音域で弾いた方がベースらしくなります。

- 4.メモリーが終わったら、ミュージックプログラマー・オフのボタンをON。

★コード再生せずにベースラインのみを記憶させることもできますが、コード、ソロ、オーケストラを再生させてメモリーした方が合わせやすい。

●ベースの部分修正

ベースがフィルインを行うような場合など、オートベースコードのベースパターンを一部修正することもできます。

- 1.コードの再生をスタート。
- 2.変えたい小節の前で、ポーズをON。
- 3.マニュアルベース・レコードのボタンをON。
- 4.メモリーさせたい小節のベースラインを演奏。
- 5.ミュージックプログラマー・オフのボタンをON。

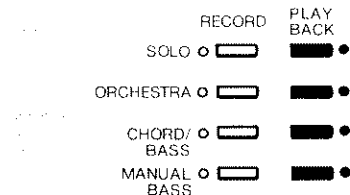
※再生したい時は、コード/ベースとマニュアルベースのプレイバックボタンをON。修正していない部分はオートベースコードのベースパターンで再生されます。

★部分修正をした場合、前の曲でマニュアルベースにメモリーさせてあると、その修正した部分以外のところは、前にメモリーしたベースが再生されます。曲を変える時は必ずマニュアルベースのメモリーを消してください。消し方は、まずマニュアルベース・レコードのボタンをON。そしてリズム・スタートをONしてすぐにリズム・ストップかミュージックプログラマー・オフを押します。

レジストエディット

メモリーさせた音色やリズム、またそれらのボリュームを変更したい時に使います。

- 1.ソロ、オーケストラ、コード、ベースの再生をスタート。



- 2.音色や、リズムなどを変更したい小節でポーズをON。

● PAUSE

- 3.変更したくないパートはプレイバックをONしてプレイバックを解除。

- 4.レジストエディットをON。

● REGIST EDIT

プレイバックを解除しなかったパートのレコードが自動的にONされます。

- 5.レジストレーションを変更。

音色やリズム、それらのボリュームや効果を変更します。

- 6.ポーズのボタンをもう1度ON。

変更したレジストで、再生されます。

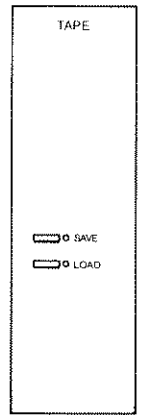
○ PAUSE

★フィルイン、ブレイクもレジストレーションとしてメモリーしてあるので、変更した後にメモリーしてあった場合は消去されます。

※再生のスタート時からレジストエディットをONして、演奏を聴きながら変更することもできます。この時変更したくないパートはレジストエディットをONした後にプレイバックをONします。ただし、このやり方では、各ボリュームの変更はスタート時のみ可能となります。

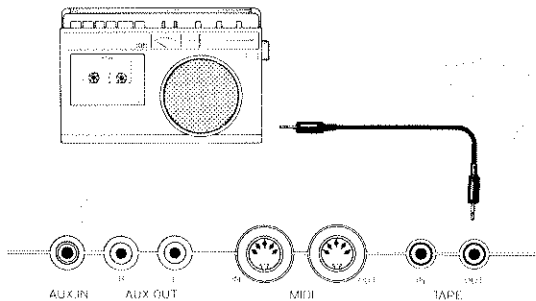
テープ (カセットインターフェイス)

外部テープに、カスタムドラマーでつくったリズムパターンやミュージックプログラマーでメモリーした演奏を保存したり、また本体に戻したりすることができます。

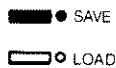


セーブ(PS-6100→テープ)

1. PS-6100の付属端子TAPE OUTと、テープレコーダーのMIC IN端子をコードで接続。



2. メモリーさせるテープをテープレコーダーにセット。
3. テープレコーダーの録音スイッチをON。
4. セーブのボタンをON。



テープが完了するとセーブのランプが消えますから、テープレコーダーのスイッチを切ります。

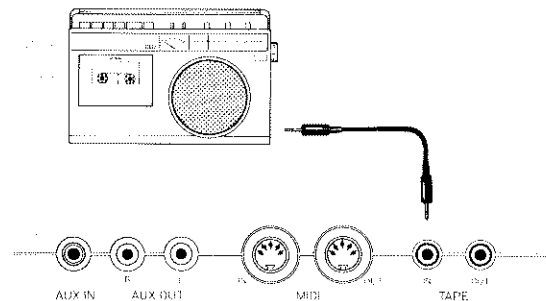
- ★セーブにかかる時間は、最高80秒です。ミュージックプログラマーにメモリーさせた演奏の長さによって変わります。
- ★接続が不完全であったり、テープレコーダーとのマッチングが悪い場合、セーブランプが点灯したままになります。この時は、セーブのボタンをもう1度押してセーブのランプを消し、接続などを確認してからやりなおしてください。
- ★対応させるテープレコーダーは次の条件のものを使用してください。

MIC IN端子	入力インピーダンス：10KΩ以上 最少入力レベル：10mV以下
HEADPHONES端子	出力インピーダンス：10Ω以下 出力レベル：2.0V以上

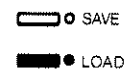
(ステレオタイプを用いる場合、BALANCEをL側にして使用してください。)

ロード(テープ→PS-6100)

1. PS-6100の付属端子TAPE INと、テープレコーダーのHEAD PHONES端子をコードで接続。



2. メモリーさせたテープをテープレコーダーにセット。
3. ロードのボタンをON。



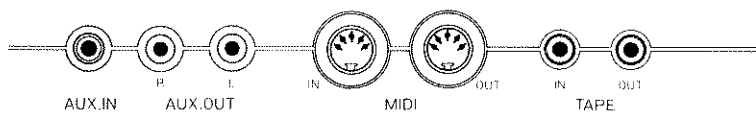
4. テープレコーダーの再生スイッチをON。

ロードが完了すると、ロードのランプが消えます。

- ★ロードにかかる時間は、セーブの時にかけた時間と同じです。
- ★PS-6100にメモリーしてあったカスタムドラマーやミュージックプログラマーの情報は消去されます。
- ★ロード、セーブしている間、鍵盤を押しても音やリズムは鳴りません。
- ★ロードレベルが大きすぎたり、変なデータが入った場合はエラーとなり、ロードランプが点滅します。もう1度ロードのボタンを押してロードランプを消し、やりなおしてください。
- ★ロードレベルが小さすぎたり、はじめからデータが入ってない場合はロードランプが点灯したままになります。もう1度ロードのボタンを押してロードランプを消し、やりなおしてください。

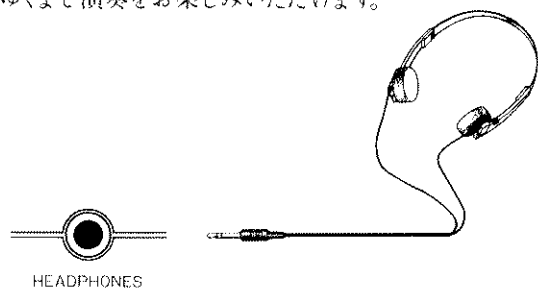
付属端子とオプション

PS-6100の本体背面には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、PS-6100の楽しさはいっそう広がります。(HEADPHONES端子は左前にあります。)



1. HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。

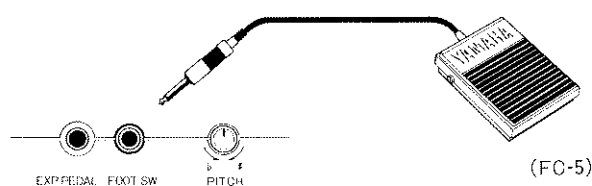


2. ピッチコントロール(PITCH)

他の楽器とアンサンブルをする時など、音程を微妙に調整できます。(中心より±50セント変化します。)

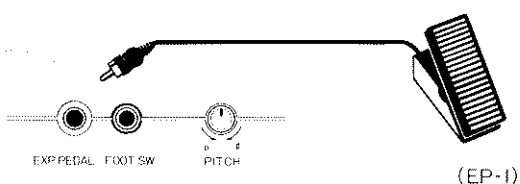
3. FOOT SW端子

フットスイッチを接続する端子です。効果はパネル面のフットスイッチレバーで選びます。



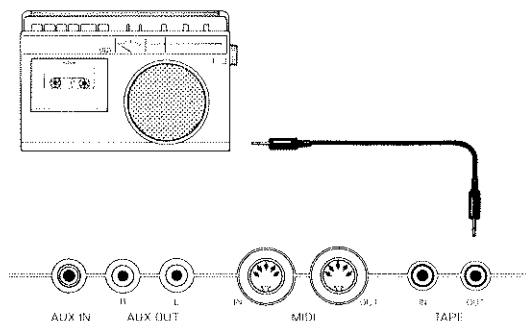
4. EXP. PEDAL端子

エクスプレッションペダルは、演奏中、足で自由に音量を調節することができるペダルです。このEXP. PEDAL端子に接続してお使いください。



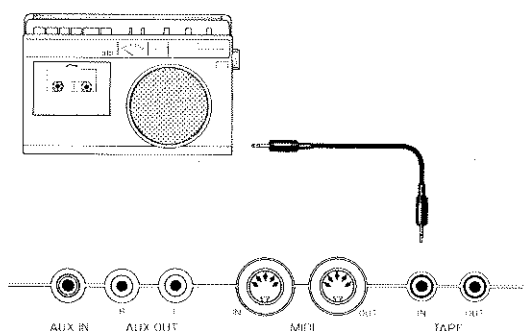
5. TAPE OUT端子

テープ(カセットインターフェイス)で、カセットなどにPS-6100のデータをデジタル録音する時に使用します。テープレコーダー/デッキのMIC IN端子に接続してください。



6. TAPE IN端子

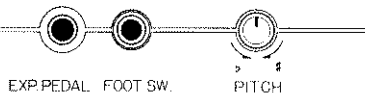
テープ(カセットインターフェイス)で、カセットなどにデジタル録音したものをPS-6100にロードする時に使用します。テープレコーダー/デッキのヘッドホン端子に接続してください。



7. MIDI端子

MIDI(=ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス)端子は、デジタル楽器の統一規格。PS-6100を他の楽器やコンピューターなどと接続し、データ交換をすることができます。

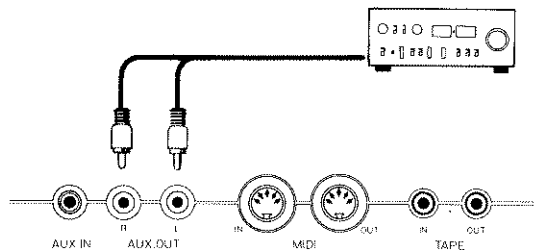
(規格等、詳細につきましては39ページ、各地サービスセンター)までお問い合わせください。



8. AUX. OUT R・L 端子

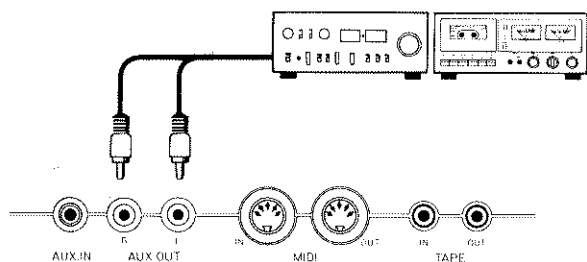
A. より豊かな音量で。

PS-6100は、内蔵したスピーカーでも演奏が楽しめますが、出力の大きなスピーカーに接続すると、ライブ感覚あふれる、迫力のサウンドがお楽しみいただけます。このAUX. OUT端子を使って、ステレオやアンプなどのLINE INジャックに接続してください。



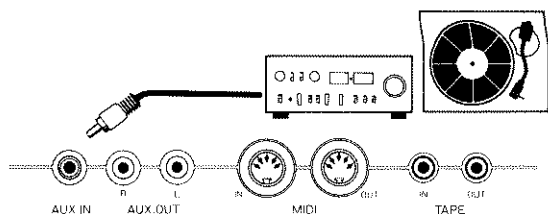
B. 演奏を録音

PS-6100の演奏を録音したいときは、このAUX. OUT端子を使って、テープデッキのLINE INジャックに接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整できます。



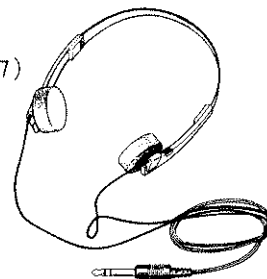
9. AUX. IN 端子

レコードやテープの音をPS-6100本体のスピーカーから出したいときに使う端子です。レコードやテープの音量は、PS-6100のマスターボリュームでは調整できませんから、ステレオやテープデッキの音量コントローラーをお使いください。



オプション(別売)

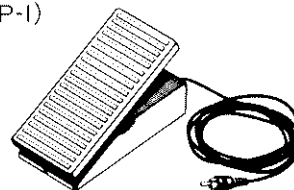
- ライトウエイトヘッドホン(YHL-007)



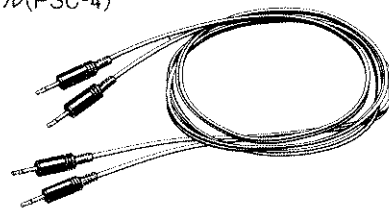
- フットスイッチ(FC-5)



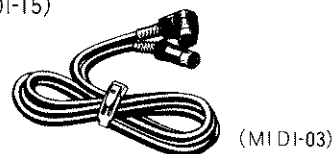
- エクスプレッションペダル(EP-1)



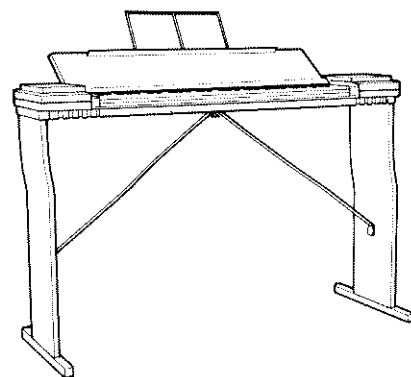
- インターフェイスケーブル(PSC-4)



- MIDIケーブル(MIDI-03、MIDI-15)



- スタンド(L-3)



故障と誤まりやすい現象

現 象	原 因	解 決 法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配ありません。
ソロ音色がでない。	ソロボタンが押されていない。	10ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
オーケストラアッパー音色、またはソロ音色セレクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	① サイド切換スイッチを操作していない。 ② オーケストラ・アッパー、ソロのボタンを押していない。 ③ オーケストラ・ローをONしている時、伴奏用の鍵盤で弾いている。 ④ オートベースコードを使っている時、伴奏用の鍵盤で弾いている。	①② 8、10ページの説明を読んで操作もれがない確認してください。 ③ 9ページの説明をおよみください。 ④ オートベースコードを使っている場合、オートベースコードの音色は、オーケストラ・アッパー、オーケストラ・ロー、ソロの音色セレクターで選んだ音色とは関係ありません。
オーケストラ・アッパー音色は、9音押えても8音、オーケストラ・ロー音色は2音押えても1音しかでない。	オーケストラ・アッパー音色は最高8音、オーケストラ・ロー音色は最高4音、ソロ音色は1音しかでないようになっています。(オーケストラ・アッパー音色は、メロディプラスのデュエットをONしていると7音、さらにトリオにすると6音しかでないようになっています。)	オーケストラ・アッパーとオーケストラ・ローの音色は先に押えた音が優先。 ソロ音色は高音が優先します。
リズムの音がでない。	① スタートボタンがどちらも押されていない。 ② シンクロスタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ③ リズムボリュームが最小になっている。	11ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセレクターで選んだリズムとは別のリズムが出る。	① タテとヨコのリズムセレクターをどちらか操作していない。 ② フィルイン・バーのスイッチが押されている。	① 11ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ② フィルインを使うと、リズムは変化パターンに切りかわります。
カスタムドラマーのプログラムをONすると、オートベースコードが鳴りだす。	オートベースコードのシングルフィンガーコードかフィンガードコードがONされている。	オートベースコードのオフのボタンを押してください。
カスタムドラマーでクリアしたらメロノーム音が消えた。	ハイハット・クローズを、1度クリアしたのに、もう1度クリアしてしまったため。	リズムのストップボタンを押してから、もう1度カスタムドラマーのプログラムのボタンを押せば、メロノーム音がなります。
カスタムドラマーで自分の弾いたとおりに入らない。	① リズムセレクターで選択したリズムを誤まっている。 ② カスタムドラマーは16分音符の単位まで入ります。	①② 12ページの説明をお読みください。
オートベースコードの音が出ない。 または、リズムにのらない。	① シングルフィンガーコード、フィンガードコードのボタンがどちらも押されていない。 ② オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③ コードとベースのボリュームが最小になっている。	15～17ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。

現象	原因	解決法
メモリーを使って、オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤を指を離さずに弾いているため。	メモリーを使ったオートベースコード伴奏では、コードチェンジをするとき、一度指を離すようにしてください。
メモリーを使って、オートベースコードで伴奏している時、スプリットの位置を変更すると、オートベースコードの音が消える。	スプリットの変更をしたため。	演奏する前に、スプリットの位置を設定するか、そのコードの鍵盤を押えたまま変更をしてください。
メロディープラスで、デュエットまたはトリオの音が出ない。	① オートベースコードを使用していない。 ② オーケストラのボリュームが下がっていない。	17ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
演奏どおりのメロディーを記憶しない。	オーケストラ・アッパーとソロは単音のみしか記憶されません。	最高音が優先され記憶されます。
オーケストラ・アッパーやソロをメモリーさせるとき、鍵盤から音がでない。また、音がでているのにメモリーされない。	コード再生をしながらメモリーしている時、スプリットの位置より低い音は、オーケストラ・ローワーがOFFだと音はならず、ONの時は音が鳴りますがメモリーしません。	スプリットの位置を変更してください。
レジストエディットを使ったら、フィルインやブレイクが消えてしまった。	フィルインやブレイクもレジストのひとつとしてメモリーします。	レジストエディットをONしたまま再生し、必要な時にフィルイン・バー、ブレイク・バーを押します。
メモリーされない機能がある。	ミュージックプログラマーで、次のものはメモリーされません。 ● オーケストラ・ローワー ● テンポコントロール ● マスターボリューム ● フットスイッチを使用した場合のサステイン、グライド、リズムストップ ● ソロのタッチレスポンス	21ページの表をお読みください。
メロディープラスがオーケストラ・アッパーにかからない。	① コードメモリーの時にメロディープラスをONしていない。 ② オーケストラ・アッパーとソロの両方を再生しているため。	① メロディープラスはコードメモリーの時にONしてください。 ② メロディープラスはソロを優先します。
レジストエディットを使っても、ボリュームの変更がされない。	ポーズをONして変更していないため。	24ページの説明をお読みください。
鍵盤を押えても音色やリズムが鳴らない。	① カスタムドラマーのプログラムがONされている。 ② ミュージック・プログラマーで、レジストエディットがONされている。 ③ テープのセーブ、ロードがONされている。	① 12ページの説明をお読みください。 ② 24ページの説明をお読みください。 ③ セーブ、ロードのボタンをもう1度押ししてOFFにします。

仕様

■鍵盤

一段鍵盤 61鍵C1~C6

■音色スイッチ

ソロ
サイド切替スイッチ
パンフルート/ピッコロ
クラリネット/ジャズフルート
サクソフォン/オーボエ
ホルン/ハーモニカ
トランペット/トロンボーン
バイオリン/チェロ
ロックギター/ファズギター
シンセ/バンジョー
ファニー/ファンタジー

■オーケストラ・アッパー

サイド切替スイッチ
ジャズオルガン/バイブオルガン
フルート/ブラス
ストリングス/フレンチアコーディオン
ピアノ/エレクトリックピアノ
ハーブシコード/ミュージックボックス
ジャズギター/ハワイアンギター
バイブ/マリンバ
ハーブ/チャイム

■オーケストラ・ロワー

サイド切替スイッチ
ブラス/ホルン
ストリングス/ギター
ピアノ/エレクトリックピアノ

■音色コントロール

ソロ
オン/オフスイッチ
ボリューム
サステイン
タッチレスボンス
オーケストラ・アッパー
オン/オフスイッチ
アッパーボリューム
サステインオフ、1、2
ステレオシンフォニック
(アンサンブル、コーラス)
オーケストラ・ロワー
オン/オフスイッチ
ロワーボリューム
サステイン
スプリット

■リズムスイッチ

スウィング/ビッグバンド/スローロック/バラード
レゲエ/シャッフル/ロックンロール1/ロックンロール2
ディスコ1/ディスコ2/ロック/ヘヴィメタル
8ビート1/8ビート2/16ビート1/16ビート2
ポップス1/ポップス2/エレクトリックポップ1/
エレクトリックポップ2
サルサ1/サルサ2/ルンバ/タンゴ
サンバ/ボサノバ/カントリー/フォーク
ワルツ/ジャズワルツ/マーチポルカ/マーチ%
ハンドクラップ1}ハンドクラップ3
ハンドクラップ2} (ハンドクラップ1、2共にオン)
バリエーション

■リズムコントロール

シンクロススタートスイッチ
スタートスイッチ
リズムストップ
テンポコントロール
リズムボリューム
テンポランプ
フィルイン1、2、3
フィルイン・バー
ブレーク・バー

■カスタムドラマー

カスタムドラマー1、2
プログラム
クリア

■オートベースコード

シングルフィンガーコードスイッチ
フィンガードコードスイッチ
メモリースイッチ
オフスイッチ
コードボリューム
ベースボリューム

■メロディー・プラス

デュエット
トリオ

■ミュージックプログラマー

レコードスイッチ(ソロ・オーケストラ・
コード/ベース・マニュアルベース)
プレイバックスイッチ(ソロ・オーケストラ・
コード/ベース・マニュアルベース)
ミュージックプログラマー・オフスイッチ
プレイバックリビートスイッチ
ポーズスイッチ
レジストエディットスイッチ

■メモリー容量

ソロ(1800バイト)
オーケストラ(1800バイト)
コード/ベース(1600バイト)
マニュアルベース(1000バイト)

■テープ

セーブスイッチ
ロードスイッチ

■その他コントロール

パワースイッチ
バイロットランプ
マスターボリューム
トランスポザー
ピッチコントロール
フットスイッチ
サステイン/グライド/
リズムストップ/フィルイン/
ブレーク

■付属端子

HEADPHONES JACK
FOOT SW. JACK
AUX. OUT L・R JACKS
AUX. IN JACK
EXP. PEDAL JACK
TAPE IN JACK
TAPE OUT JACK
MIDI IN JACK
MIDI OUT JACK
AC IN

■メインアンプ

5W×2

■スピーカー

12cm(4Ω)×2

■定格電源

AC100V

■消費電力

30W

■外装

本体材質：ABS樹脂
仕上げ：アクリルラッカー塗装
間 口：1181mm
奥 行：273mm(434mm)
高 さ：96mm(310mm)
(カッコ内はふたを開けたとき)
重 量：12.0kg

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)

■保証期間の1年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

全国のヤマハ特約店と下記電音サービスセンター、サービスステーションが責任をもってアフターサービスを行っております。

〔修理受付および修理品お預り〕

東京電音サービスセンター

☎(044)434-3100
〒211 川崎市中原区木月1184

新潟電音サービスステーション

☎(0252)43-4321
〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

大阪電音サービスセンター

☎(06)877-5262
〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

四国電音サービスステーション

☎(0878)51-7777 (0878)22-3045
〒760 高松市丸龜町8-7 高松店内

名古屋電音サービスセンター

☎(052)652-2230
〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2日本楽器名古屋流通センター

九州電音サービスセンター

☎(092)472-2134
〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

広島電音サービスセンター

☎(082)874-3787
〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2205-3

北海道電音サービスセンター

☎(011)781-3621
〒065 札幌市東区本町1条9-3

仙台電音サービスセンター

☎(0222)36-0249
〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

浜松電音サービスセンター

☎(0534)56-9211
〒432 浜松市東伊場2-13-12

〔本 社〕

営業技術課 電音サービスセンター

☎(0534)65-1111
〒430 浜松市中沢町10-1

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル
TEL.03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館
TEL.06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL.011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル
TEL.0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3744

浜松支店 / 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL.0534(54)4116

